

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2023年8月10日提出
【発行者名】	野村アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	C E O兼代表取締役社長 小池 広靖
【本店の所在の場所】	東京都江東区豊洲二丁目2番1号
【事務連絡者氏名】	松井 秀仁
【電話番号】	03-6387-5000
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型 野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型 野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型 野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型 2兆円を上限とします。 野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型 2兆円を上限とします。 野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型 2兆円を上限とします。 野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型 2兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、有価証券報告書を提出いたしましたので、2023年2月10日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報を更新するため、また、記載事項の一部に変更がありますので本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

原届出書の下記の記載事項につきましては内容を更新・訂正いたします。

第二部ファンド情報 第1ファンドの状況 5運用状況
第二部ファンド情報 第3ファンドの経理状況

また、それ以外の訂正事項につきましては、＜訂正前＞および＜訂正後＞に記載している下線部__は訂正部分を示し、＜更新後＞の記載事項は原届出書の更新後の内容を示します。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1 ファンドの性格

（1）ファンドの目的及び基本的性格

<更新後>

上記、商品分類及び属性区分の定義については、下記をご覧ください。
なお、下記一般社団法人投資信託協会のホームページでもご覧頂けます。

《一般社団法人投資信託協会インターネットホームページアドレス》 <http://www.toushin.or.jp/>

一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」に基づくファンドの商品分類及び属性区分は以下の通りです。（2023年1月19日現在）

<商品分類表定義>

[単位型投信・追加型投信の区分]

- (1) 単位型投信...当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われのないファンドをいう。
- (2) 追加型投信...一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来からの信託財産とともに運用されるファンドをいう。

[投資対象地域による区分]

- (1) 国内...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2) 海外...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3) 内外...目論見書又は投資信託約款において、国内及び海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

[投資対象資産による区分]

- (1) 株式...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (2) 債券...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (3) 不動産投信(リート)...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券及び不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいう。
- (4) その他資産...目論見書又は投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に上記(1)から(3)に掲げる資産以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいう。なお、その他資産と併記して具体的な収益の源泉となる資産の名称記載も可とする。
- (5) 資産複合...目論見書又は投資信託約款において、上記(1)から(4)に掲げる資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいう。

[独立した区分]

- (1) MMF(マネー・マネージメント・ファンド)...MRF及びMMFの運営に関する規則（以下「MRF等規則」という。）に定めるMMFをいう。
- (2) MRF(マネー・リザーブ・ファンド)...MRF等規則に定めるMRFをいう。
- (3) ETF...投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号及び第2号に規定する証券投資信託並びに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいう。

[補足分類]

- (1) インデックス型...目論見書又は投資信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨の記載があるものをいう。
- (2) 特殊型...目論見書又は投資信託約款において、投資者に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいう。なお、下記の属性区分で特殊型の小分類において「条件付運

用型」に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記するものとし、それ以外の小分類に該当する場合には当該小分類を括弧書きで付記できるものとする。

(3) ファンドの仕組み

< 更新後 >

委託会社の概況(2023年6月末現在)

・名称

野村アセットマネジメント株式会社

・資本金の額

17,180百万円

・会社の沿革

1959年12月1日

野村証券投資信託委託株式会社として設立

1997年10月1日

投資顧問会社である野村投資顧問株式会社と合併して野村アセット・マネジメント投信株式会社に商号を変更

2000年11月1日

野村アセットマネジメント株式会社に商号を変更

・大株主の状況

名称	住所	所有株式数	比率
野村ホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋1-13-1	5,150,693株	100%

2 投資方針

(2) 投資対象

< 更新後 >

世界の高配当利回り株式を実質的な主要投資対象 とします。

各コースは、以下の円建ての外国投資信託および円建ての国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。

ファンド名	投資対象
円コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドV - グローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム - 日本円クラス
	野村マネー マザーファンド
通貨セレクトコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドV - グローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム - 通貨セレクトクラス
	野村マネー マザーファンド

デリバティブの直接利用は行ないません。

投資の対象とする資産の種類(約款第15条)

この信託において投資の対象とする資産（本邦通貨表示のものに限ります。）の種類は、次に掲げるものとします。

1. 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）
 - イ．有価証券
 - ロ．約束手形（イに掲げるものに該当するものを除きます。）
 - ハ．金銭債権（イ及びロに掲げるものに該当するものを除きます。）
2. 次に掲げる特定資産以外の資産
 - イ．為替手形

有価証券の指図範囲(約款第16条第1項)

委託者は、信託金を、円建ての外国投資信託である、ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドV - グローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム - 受益証券および野村アセットマネジメント株式会社を委託者とし、野村信託銀行株式会社を受託者として締結された親投資信託である野村マネーマザーファンド受益証券のほか、次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除くものとし、本邦通貨表示のものに限ります。）に投資することを指図します。

1. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等
2. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、前号の証券の性質を有するもの
3. 国債証券、地方債証券、特別の法律により法人の発行する債券および社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券および短期社債等を除きます。）
4. 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）

なお、第3号の証券を以下「公社債」といい、公社債にかかる運用の指図は買い現先取引（売戻し条件付の買い入れ）および債券貸借取引（現金担保付き債券借入れ）に限り行なうことができるものとします。

(注)上記 印となっている箇所は、コース毎に下記のようにそれぞれあてはめてご覧ください。

円コース	通貨セレクトコース
日本円クラス	通貨セレクトクラス

金融商品の指図範囲(約款第16条第2項)

委託者は、信託金を、上記「有価証券の指図範囲」に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みません。）により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託（上記「有価証券の指図範囲」に掲げるものを除く。）
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形

(参考)投資対象とする外国投資信託の概要

ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドV - グローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム

（日本円クラス、通貨セレクトクラス）

（ケイマン諸島籍円建外国投資信託）

< 運用の基本方針 >

主要投資対象	世界の高配当株を主要投資対象とします。加えて、保有する銘柄にかかるコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得を目指す「株式プレミアム戦略」を活用します。								
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の高配当株を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行なうことを基本とします。 ・ 高配当株を上場市場や所在地、発行通貨等から、「米州」、「欧州」、「アジア・太平洋」の各地域に属する株式に分類します。 ・ 各地域の株式への投資比率は、原則として、下記の通りとします。 <table border="1" data-bbox="448 539 1361 611"> <thead> <tr> <th>地域名</th> <th>米州</th> <th>欧州</th> <th>アジア・太平洋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>投資比率</td> <td>25～50%</td> <td>25～50%</td> <td>25～50%</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記の投資比率は、市場構造や投資環境の変化等によって、見直す場合があります。</p> ・ 為替にかかる含み損益の状況によっては、一時的に上記のような運用ができない場合があります。 ・ 高配当株への投資に加えて、「株式プレミアム戦略」を活用し、さらなる収益の獲得を目指します。「株式プレミアム戦略」とは、保有する銘柄にかかるコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得を目指す戦略をいいます。 市場環境によっては、株式オプションのコール売り以外のオプション取引を行なう場合があります。 ・ 株式プレミアム戦略によってさらなる収益の獲得を目指しますが、株価が権利行使価格を上回って値上がりした局面では、収益の一部を享受できない場合があります。 ・ 米ドル建て以外の資産に投資を行なった場合は、各副投資顧問会社が、原則として当該資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行ないます。 ファンドには2つのクラス（日本円クラス、通貨セレクトクラス）があり、クラスごとに、組入資産について、原則として、米ドルを売り、各クラスの通貨（通貨セレクトクラスについては、米ドル以外の選定通貨）を買う為替取引を行なうことで、各通貨への投資効果を追求します。 <p>< 通貨セレクトクラスにおける通貨運用方針 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原則として、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・ブロードおよびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード構成国の通貨の中から、金利水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、相対的に金利が高い5つの通貨を選定することを基本とします。選定通貨は、定期的に（原則、毎月）見直すこととします。 ・ 1通貨当りのエクスポージャーについては、原則として、純資産総額の10%～30%程度の範囲内に維持することを基本とします。 ・ ファンダメンタルズおよび流動性を考慮して、選択される通貨が4以下または6以上となる場合があります。この場合、1通貨当りのエクスポージャーは上記の範囲を超える場合があります。 ・ 投資顧問会社が、高配当株や株式オプションの運用を行なう副投資顧問会社の選定と、各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率を決定します。 ・ 副投資顧問会社の選定にあたっては、運用体制や運用プロセスなどに対する独自の定性評価を重視し、高配当株や株式オプションの運用において優れていると判断した運用会社を原則として複数選定します。 ・ 投資顧問会社は選定した副投資顧問会社およびファンド全体のリスク特性の状況をモニターし、必要に応じて各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率の変更や副投資顧問会社の入替を適宜行ないます。 <p>* 投資顧問会社は、副投資顧問会社の選定および信託財産の配分比率決定にあたり、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社より助言を受けます。</p>	地域名	米州	欧州	アジア・太平洋	投資比率	25～50%	25～50%	25～50%
地域名	米州	欧州	アジア・太平洋						
投資比率	25～50%	25～50%	25～50%						

主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・同一発行体の発行する有価証券への投資割合は、ファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・投資信託証券（上場投資信託証券を除く。）への投資割合は、ファンドの純資産総額の5%以内とします。 ・デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定しません。
収益分配方針	毎月、投資顧問会社と協議の上、受託会社の判断により、分配を行なう方針です。
償還条項	全クラスの合計の純資産残高が50億円を下回った場合にはファンドを、各クラスの純資産残高が50億円を下回った場合には当該クラスを、それぞれ償還する場合があります。

< 主な関係法人 >

受託会社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
投資顧問会社	野村アセットマネジメント株式会社
通貨運用会社	ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッド
管理事務代行会社 保管銀行	ノムラ・バンク（ルクセンブルグ）エス・エー

< 副投資顧問会社 > 下記をご参照ください。**< 管理報酬等 >**

信託報酬	<p>< 日本円クラス > 純資産総額の0.95%（年率）</p> <p>< 通貨セレクトクラス > 通貨セレクトクラスの純資産総額に応じて次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 500億円以下の部分 1.10%（年率） ・ 500億円超の部分 1.05%（年率）
申込手数料	なし
信託財産留保額	1口につき純資産価格の0.30%（当初1口 = 1万円）
その他の費用	信託財産に関する租税、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用および信託財産の監査に要する費用、外貨建資産の保管などに要する費用、副投資顧問会社の追加に要する費用、借入金の利息および立替金の利息など。

上記のほか、一般社団法人投資信託協会の定めるファンド・オブ・ファンズ組入投資信託および投資法人の要件を満たしております。

副投資顧問会社

主な担当地域	副投資顧問会社	運用の再委託先
米州	BlackRock Investment Management, LLC	BlackRock Investment Management (UK) Limited BlackRock Asset Management North Asia Limited
欧州	Schroder Investment Management Limited	-
アジア・太平洋	野村アセットマネジメント株式会社 FIRST SENTIER INVESTORS (AUSTRALIA) IM LTD	-

指数の著作権等について

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・ブロードおよびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ・ブロードは、J.P.Morgan Securities LLCが公表している、現地通貨建ての世界主要国の債券、現地通貨建ての新興国の債券をそれぞれ対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

* 上記は2023年8月10日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドVーグローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム」の運用体制について

野村アセットマネジメント株式会社は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（NFRC）の助言に基づき、世界の高配当株および株式オプションの実質的な運用を行なう副投資顧問会社を選定し、各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率を決定します。

野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（NFRC）は、投資信託、年金運用機関、オルタナティブ(代替)投資商品など、様々な運用商品・運用機関の分析・評価を主たる業務とする、野村グループの投資顧問会社です。

(参考)マザーファンドの概要

「野村マネー マザーファンド」
運用の基本方針

約款第13条に基づき委託者の定める方針は、次のものとします。

1. 基本方針

この投資信託は、本邦通貨表示の公社債等に投資を行ない、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

2. 運用方法

(1) 投資対象

本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。

(2) 投資態度

残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(3) 投資制限

株式への投資は行ないません。

外貨建資産への投資は行ないません。

有価証券先物取引等は約款第14条の範囲で行ないます。

スワップ取引は約款第15条の範囲で行ないます。

一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えることとなるデリバティブ取引等（同規則に定めるデリバティブ取引等をいいます。）の利用は行ないません。

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エク

スポンジャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

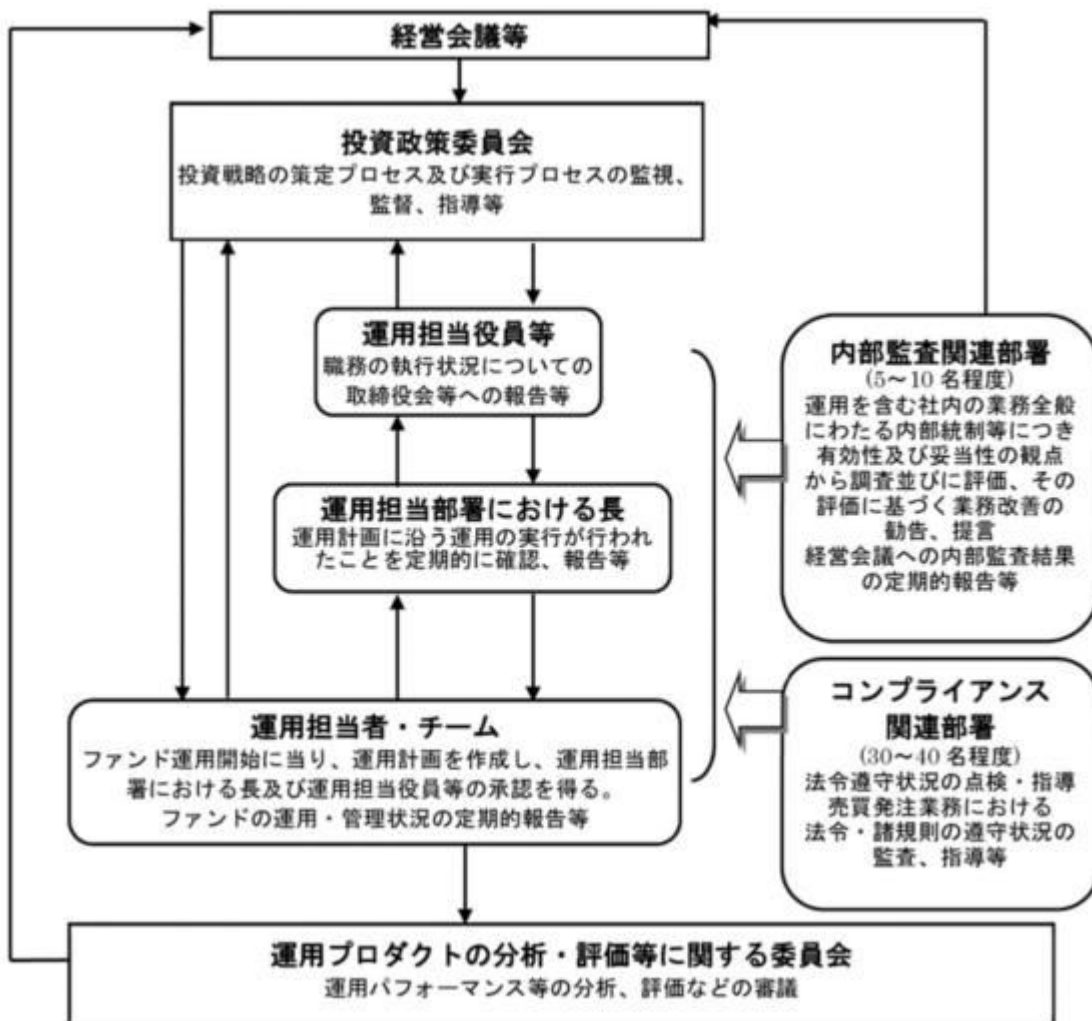
「野村マネー マザーファンド」の運用体制等について

経済調査部署による国内外の経済調査および発行体の信用力調査をもとに、運用担当者が債券・短期金融商品等の銘柄選定やポートフォリオの構築を行ないます。運用審査部署がファンドのリスク管理・分析を行ない、モニタリング・分析結果を運用チームに提供します。

(3) 運用体制

<更新後>

ファンドを含む委託会社における投資信託の内部管理及び意思決定を監督する組織等は以下の通りです。



委託会社によるファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制等

当社では、「受託会社」または受託会社の再信託先に対しては、日々の純資産照合、月次の勘定残高照合などを行っております。また、受託業務の内部統制の有効性についての監査人による報告書を、受託会社より受け取っております。

運用の外部委託を行う場合、「運用の外部委託先」に対しては、外部委託先が行った日々の約定について、投資ガイドラインに沿ったものであるかを確認しています。また、コンプライアンスレポートの提出を義務付け、定期的に管理状況に関する報告を受けています。さらに、外部委託先の管理体制、コンプライアンス体制等について調査ならびに評価を行い、定期的に商品に関する委員会に報告しています。

ファンドの運用体制等は今後変更となる場合があります。

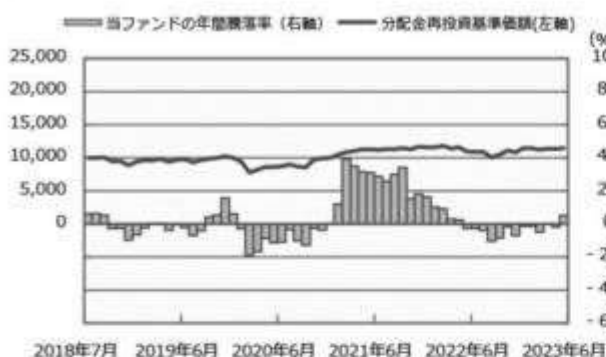
3 投資リスク

<更新後>

■ リスクの定量的比較 (2018年7月末～2023年6月末：月次)

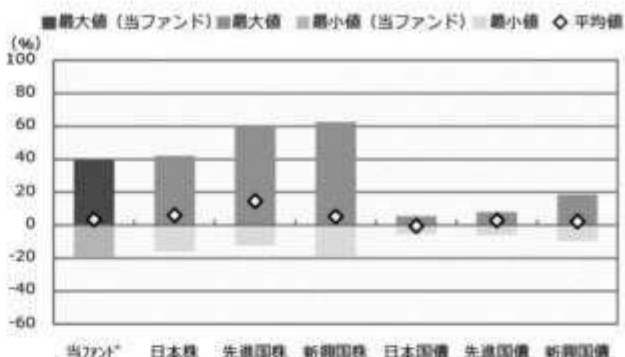
Ⅰ円コース（毎月分配型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



2018年7月 2019年6月 2020年6月 2021年6月 2022年6月 2023年6月

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



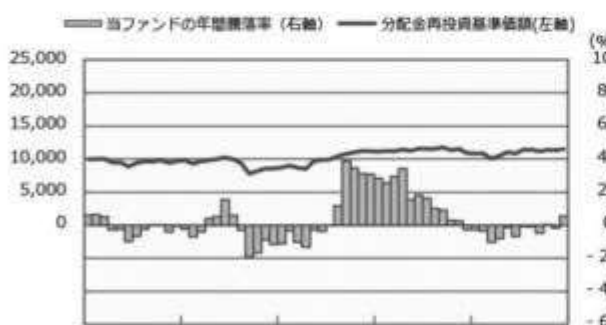
	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	39.3	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	18.5
最小値 (%)	△ 19.1	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値 (%)	3.4	6.0	14.5	5.3	△ 0.4	2.8	2.3

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2018年7月末を10,000として指数化しております。
- * 年間騰落率は、2018年7月から2023年6月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2018年7月から2023年6月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- * 決算日に対応した数値とは異なります。
- * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

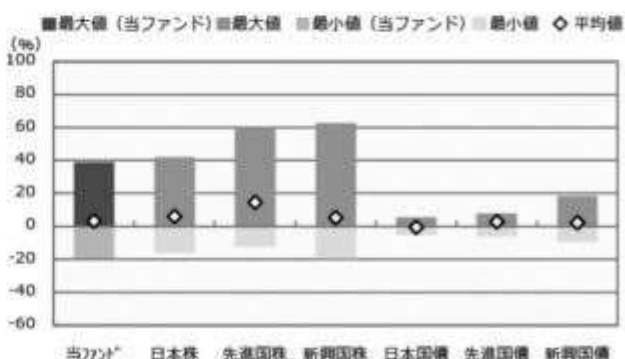
Ⅰ円コース（年2回決算型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



2018年7月 2019年6月 2020年6月 2021年6月 2022年6月 2023年6月

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	38.8	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	18.5
最小値 (%)	△ 19.1	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値 (%)	3.4	6.0	14.5	5.3	△ 0.4	2.8	2.3

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2018年7月末を10,000として指数化しております。
- * 年間騰落率は、2018年7月から2023年6月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2018年7月から2023年6月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- * 決算日に対応した数値とは異なります。
- * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

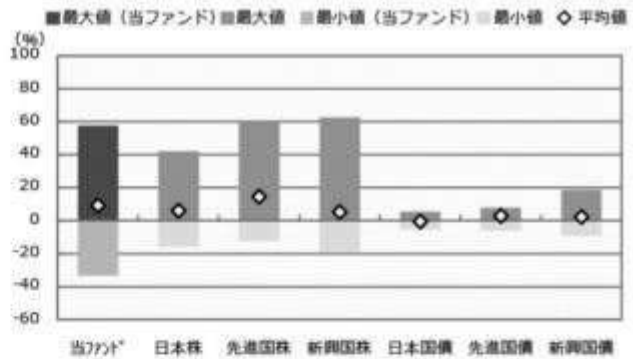
通貨セレクトコース（毎月分配型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



2018年7月 2019年6月 2020年6月 2021年6月 2022年6月 2023年6月

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド*	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	57.7	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	18.5
最小値 (%)	△ 33.4	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値 (%)	9.2	6.0	14.5	5.3	△ 0.4	2.8	2.3

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2018年7月末を10,000として指数化しております。

* 年間騰落率は、2018年7月から2023年6月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
* 2018年7月から2023年6月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

* 決算日に対応した数値とは異なります。

* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

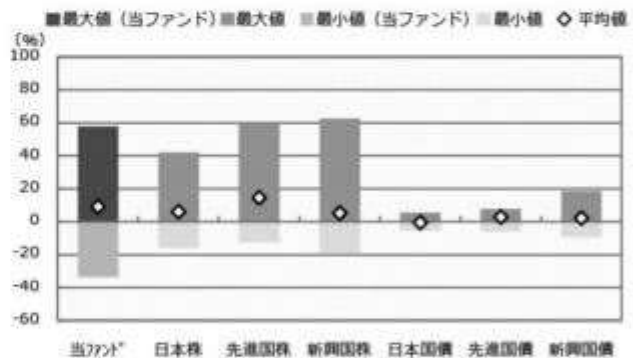
通貨セレクトコース（年2回決算型）

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



2018年7月 2019年6月 2020年6月 2021年6月 2022年6月 2023年6月

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド*	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	57.7	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	18.5
最小値 (%)	△ 33.6	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値 (%)	9.1	6.0	14.5	5.3	△ 0.4	2.8	2.3

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2018年7月末を10,000として指数化しております。

* 年間騰落率は、2018年7月から2023年6月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
* 2018年7月から2023年6月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

* 決算日に対応した数値とは異なります。

* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

＜代表的な資産クラスの指数＞
 ○日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
 ○先進国株：MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）
 ○新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
 ○日本国債：NOMURA-BPI国債
 ○先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし、円ベース）
 ○新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

■代表的な資産クラスの指数の著作権等について■

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標準又は商標は、株式会社J.P.X総研又は株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標準又は商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J.P.Xにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ.P.Xは責任を負いません。

○MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）・・・MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○NOMURA-BPI国債・・・NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし、円ベース）・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）・・・「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）」（ここでは「指数」とよびます）についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社（以下、JPM）がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または買主になっている可能性もあります。

米国のJ.P. Morgan Securities LLC（ここでは「JPMSLLC」と呼びます）（「指数スポンサー」）は、指数に関する証券、金融商品または取引（ここでは「プロダクト」と呼びます）についての勧誘、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLCはNASD、NYSE、SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA、JPSI、J.P. Morgan Securities PLC.、またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

（出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他）

4 手数料等及び税金

（5）課税上の取扱い

＜更新後＞

課税上は、株式投資信託として取扱われます。

個人、法人別の課税について

個人の投資家に対する課税

＜収益分配金に対する課税＞

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、20.315%（国税（所得税及び復興特別所得税）15.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれます。なお、確定申告により、申告分離課税もしくは総合課税のいずれかを選択することもできます。

なお、配当控除は適用されません。

＜換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対する課税＞

換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）については、申告分離課税により20.315%（国税15.315%および地方税5%）の税率が適用され、源泉徴収口座を選択した場合は20.315%の税率により源泉徴収が行なわれます。

損益通算について

以下の所得間で損益通算が可能です。上場株式等の配当所得については申告分離課税を選択したものに限りです。

《利子所得》	《上場株式等に係る譲渡所得等》 ^{（注2）}	《配当所得》
--------	---------------------------------	--------

・特定公社債 ^(注1) の利子 ・公募公社債投資信託の収益 分配金	特定公社債、公募公社債投資信託、上場株式、公募株式投資信託の ・譲渡益 ・譲渡損	・上場株式の配当 ・公募株式投資信託の収益 分配金
--	--	---------------------------------

(注1)「特定公社債」とは、国債、地方債、外国国債、公募公社債、上場公社債、2015年12月31日以前に発行された公社債(同族会社が発行した社債を除きます。)などの一定の公社債をいいます。

(注2)株式等に係る譲渡所得等について、上場株式等に係る譲渡所得等とそれ以外の株式等に係る譲渡所得等に区分し、別々の分離課税制度とすることとされ、原則として、これら相互の通算等ができないこととされました。

公募株式投資信託は税法上、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象であり、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合にNISAの適用対象となります。ファンドは、2024年1月1日以降のNISAの対象とならない予定です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

*少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」をご利用の場合

少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」は、上場株式、公募株式投資信託等に係る非課税制度です。NISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となります。2024年1月1日以降は、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が無期限で非課税となります。他の口座で生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。

また、2024年1月1日以降は、税法上の要件を満たした商品を購入した場合に限り、非課税の適用を受けることができます。(2023年6月末現在)

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の投資家に対する課税

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の個別元本超過額については、15.315%(国税15.315%)の税率で源泉徴収が行なわれます。なお、地方税の源泉徴収はありません。

源泉税は所有期間に応じて法人税額から控除

税金の取扱いの詳細については税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

換金(解約)時および償還時の課税について

[個人の投資家の場合]

換金(解約)時および償還時の差益については、譲渡所得とみなして課税が行われます。

換金(解約)時および償還時の価額から取得費(申込手数料(税込)を含む)を控除した利益を譲渡益として課税対象となります。

[法人の投資家の場合]

換金(解約)時および償還時の個別元本超過額が源泉徴収の対象(配当所得)となります。

なお、買取りによるご換金について、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

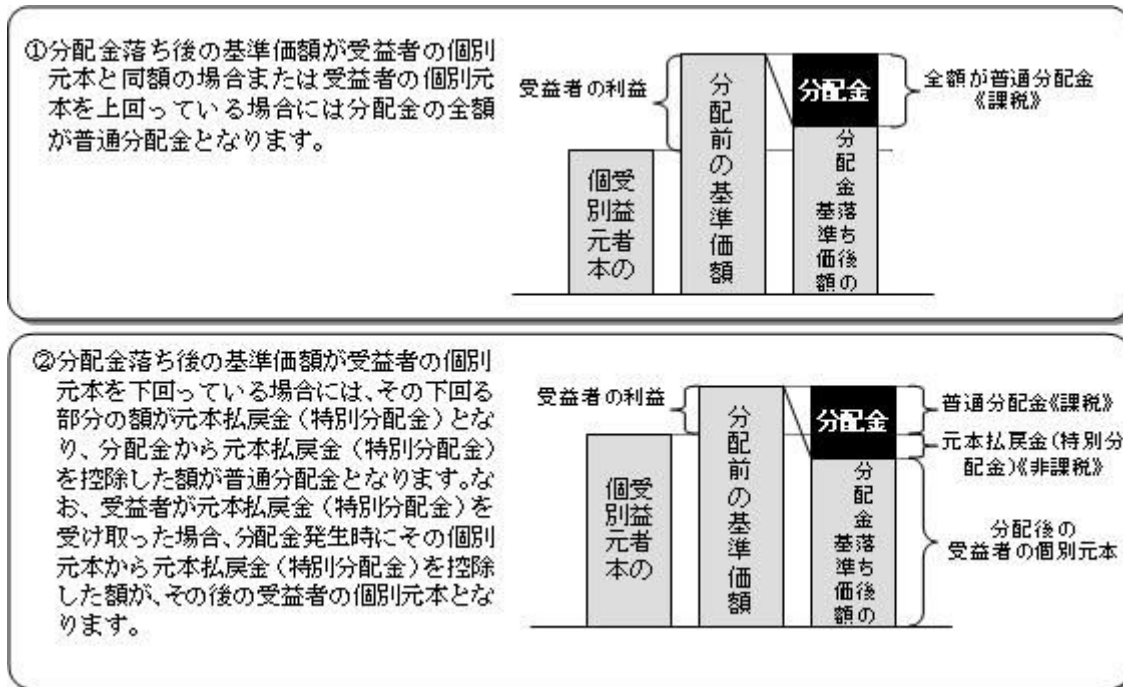
個別元本について

追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本をいいます。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合や受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合などには、当該受益者の個別元本が変わりますので、詳しくは販売会社へお問い合わせください。

分配金の課税について

分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。



上図はあくまでもイメージ図であり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

税法が改正された場合等は、上記「(5)課税上の取扱い」の内容（2023年6月末現在）が変更になる場合があります。

5 運用状況

以下は2023年6月30日現在の運用状況であります。

また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1) 投資状況

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	2,451,348,848	99.08
親投資信託受益証券	日本	1,002,359	0.04
現金・預金・その他資産（負債控除後）		21,567,297	0.87
合計（純資産総額）		2,473,918,504	100.00

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	1,017,802,404	98.91
親投資信託受益証券	日本	1,002,359	0.09
現金・預金・その他資産（負債控除後）		10,115,736	0.98
合計（純資産総額）		1,028,920,499	100.00

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	35,758,204,295	99.14
親投資信託受益証券	日本	1,002,359	0.00
現金・預金・その他資産（負債控除後）		307,836,015	0.85
合計（純資産総額）		36,067,042,669	100.00

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	3,056,153,760	98.97
親投資信託受益証券	日本	1,002,359	0.03
現金・預金・その他資産（負債控除後）		30,662,782	0.99
合計（純資産総額）		3,087,818,901	100.00

（参考）野村マネー マザーファンド

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
地方債証券	日本	110,184,902	2.48
特殊債券	日本	292,241,280	6.58
現金・預金・その他資産（負債控除後）		4,036,912,956	90.93
合計（純資産総額）		4,439,339,138	100.00

（2）投資資産

投資有価証券の主要銘柄

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	ケイマン諸島	投資信託受益証券	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドV-グローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム-日本円クラス	303,836	8,124	2,468,363,664	8,068	2,451,348,848	99.08
2	日本	親投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	983,091	1.0197	1,002,457	1.0196	1,002,359	0.04

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	99.08
親投資信託受益証券	0.04
合計	99.12

野村グローバル高配当株プレミアム(円コース)年2回決算型

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	ケイマン諸島	投資信託受益証券	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドV-グローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム-日本円クラス	126,153	8,037	1,013,891,661	8,068	1,017,802,404	98.91
2	日本	親投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	983,091	1.0197	1,002,457	1.0196	1,002,359	0.09

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.91
親投資信託受益証券	0.09
合計	99.01

野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)毎月分配型

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	ケイマン諸島	投資信託受益証券	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドV-グローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム-通貨セレクトクラス	8,906,153	3,971	35,366,333,563	4,015	35,758,204,295	99.14
2	日本	親投資信託受益証券	野村マネー マザーファンド	983,091	1.0197	1,002,457	1.0196	1,002,359	0.00

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	99.14

親投資信託受益証券	0.00
合 計	99.14

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	投資 比率 （%）
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・マルチ・マネージャー ズ・ファンドV-グローバル・ハ イ・ディビデンド・エクイティ・ プレミアム-通貨セレクトクラス	761,184	3,698	2,815,102,010	4,015	3,056,153,760	98.97
2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネー マザーファンド	983,091	1.0197	1,002,457	1.0196	1,002,359	0.03

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.97
親投資信託受益証券	0.03
合 計	99.00

（参考）野村マネー マザーファンド

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	利率 （%）	償還期限	投資 比率 （%）
1	日本	特殊債券	日本高速道路保 有・債務返済機 構債券 政府保 証債第195回	292,000,000	100.08	292,241,280	100.08	292,241,280	0.911	2023/7/31	6.58
2	日本	地方債証券	京都府 公募平 成25年度第7 回	90,000,000	100.17	90,159,632	100.17	90,159,632	0.8	2023/9/19	2.03
3	日本	地方債証券	福岡県 公募平 成25年度第4 回	20,000,000	100.12	20,025,270	100.12	20,025,270	0.816	2023/8/25	0.45

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
地方債証券	2.48
特殊債券	6.58
合 計	9.06

投資不動産物件

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型

該当事項はありません。

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型

該当事項はありません。

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型

該当事項はありません。

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型

該当事項はありません。

（参考）野村マネー マザーファンド

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型

該当事項はありません。

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型

該当事項はありません。

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型

該当事項はありません。

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型

該当事項はありません。

（参考）野村マネー マザーファンド

該当事項はありません。

（3）運用実績

純資産の推移

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型

2023年6月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第4特定期間	(2013年11月18日)	3,257	3,267	1.2458	1.2498
第5特定期間	(2014年 5月19日)	3,789	3,801	1.2504	1.2544
第6特定期間	(2014年11月17日)	3,821	3,834	1.2541	1.2581
第7特定期間	(2015年 5月18日)	4,485	4,499	1.2939	1.2979
第8特定期間	(2015年11月17日)	4,277	4,292	1.1685	1.1725
第9特定期間	(2016年 5月17日)	4,000	4,015	1.1003	1.1043
第10特定期間	(2016年11月17日)	3,596	3,609	1.1398	1.1438
第11特定期間	(2017年 5月17日)	3,708	3,720	1.1973	1.2013
第12特定期間	(2017年11月17日)	3,002	3,012	1.2004	1.2044
第13特定期間	(2018年 5月17日)	2,653	2,661	1.2210	1.2250
第14特定期間	(2018年11月19日)	2,225	2,233	1.1377	1.1417
第15特定期間	(2019年 5月17日)	2,224	2,232	1.1257	1.1297
第16特定期間	(2019年11月18日)	2,125	2,133	1.1427	1.1467
第17特定期間	(2020年 5月18日)	1,762	1,770	0.9036	0.9076
第18特定期間	(2020年11月17日)	2,581	2,591	1.0435	1.0475
第19特定期間	(2021年 5月17日)	2,832	2,842	1.1925	1.1965
第20特定期間	(2021年11月17日)	2,713	2,721	1.2229	1.2269
第21特定期間	(2022年 5月17日)	2,610	2,619	1.1584	1.1624
第22特定期間	(2022年11月17日)	2,513	2,522	1.1017	1.1057
第23特定期間	(2023年 5月17日)	2,473	2,482	1.1241	1.1281
	2022年 6月末日	2,507		1.1220	
	7月末日	2,524		1.1137	
	8月末日	2,546		1.1077	
	9月末日	2,349		1.0218	
	10月末日	2,436		1.0631	
	11月末日	2,547		1.1164	
	12月末日	2,439		1.0883	
	2023年 1月末日	2,479		1.1462	
	2月末日	2,522		1.1395	
	3月末日	2,463		1.1143	
	4月末日	2,479		1.1269	
	5月末日	2,460		1.1195	
	6月末日	2,473		1.1301	

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型

2023年6月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）

第4計算期間	(2013年11月18日)	1,886	1,887	1.3501	1.3511
第5計算期間	(2014年 5月19日)	1,972	1,974	1.3809	1.3819
第6計算期間	(2014年11月17日)	2,545	2,547	1.4107	1.4117
第7計算期間	(2015年 5月18日)	3,608	3,611	1.4821	1.4831
第8計算期間	(2015年11月17日)	3,647	3,649	1.3652	1.3662
第9計算期間	(2016年 5月17日)	3,136	3,138	1.3123	1.3133
第10計算期間	(2016年11月17日)	2,770	2,772	1.3884	1.3894
第11計算期間	(2017年 5月17日)	2,229	2,231	1.4875	1.4885
第12計算期間	(2017年11月17日)	1,795	1,796	1.5208	1.5218
第13計算期間	(2018年 5月17日)	1,355	1,356	1.5758	1.5768
第14計算期間	(2018年11月19日)	1,176	1,177	1.4972	1.4982
第15計算期間	(2019年 5月17日)	1,091	1,092	1.5106	1.5116
第16計算期間	(2019年11月18日)	1,034	1,034	1.5646	1.5656
第17計算期間	(2020年 5月18日)	888	888	1.2656	1.2666
第18計算期間	(2020年11月17日)	794	794	1.4920	1.4930
第19計算期間	(2021年 5月17日)	829	830	1.7408	1.7418
第20計算期間	(2021年11月17日)	1,056	1,056	1.8189	1.8199
第21計算期間	(2022年 5月17日)	988	988	1.7577	1.7587
第22計算期間	(2022年11月17日)	1,190	1,191	1.7114	1.7124
第23計算期間	(2023年 5月17日)	1,246	1,247	1.7825	1.7835
	2022年 6月末日	960		1.7080	
	7月末日	948		1.7022	
	8月末日	1,120		1.7019	
	9月末日	1,095		1.5765	
	10月末日	1,145		1.6464	
	11月末日	1,201		1.7343	
	12月末日	1,183		1.6967	
	2023年 1月末日	1,250		1.7929	
	2月末日	1,251		1.7889	
	3月末日	1,226		1.7555	
	4月末日	1,245		1.7815	
	5月末日	1,241		1.7753	
	6月末日	1,028		1.7985	

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型

2023年6月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第4特定期間	(2013年11月18日)	49,210	49,656	1.3220	1.3340
第5特定期間	(2014年 5月19日)	59,437	60,573	1.2559	1.2799
第6特定期間	(2014年11月17日)	201,364	205,284	1.2330	1.2570

第7特定期間	(2015年 5月18日)	392,377	399,396	1.1180	1.1380
第8特定期間	(2015年11月17日)	333,021	340,882	0.8472	0.8672
第9特定期間	(2016年 5月17日)	243,812	249,575	0.6346	0.6496
第10特定期間	(2016年11月17日)	203,635	205,285	0.6171	0.6221
第11特定期間	(2017年 5月17日)	196,270	197,627	0.7232	0.7282
第12特定期間	(2017年11月17日)	149,739	150,816	0.6958	0.7008
第13特定期間	(2018年 5月17日)	116,194	117,048	0.6797	0.6847
第14特定期間	(2018年11月19日)	79,050	79,723	0.5873	0.5923
第15特定期間	(2019年 5月17日)	66,832	67,420	0.5683	0.5733
第16特定期間	(2019年11月18日)	57,432	57,943	0.5622	0.5672
第17特定期間	(2020年 5月18日)	32,194	32,651	0.3527	0.3577
第18特定期間	(2020年11月17日)	33,942	34,018	0.4434	0.4444
第19特定期間	(2021年 5月17日)	36,133	36,198	0.5561	0.5571
第20特定期間	(2021年11月17日)	34,568	34,626	0.5969	0.5979
第21特定期間	(2022年 5月17日)	34,023	34,074	0.6579	0.6589
第22特定期間	(2022年11月17日)	33,135	33,182	0.6991	0.7001
第23特定期間	(2023年 5月17日)	33,921	33,966	0.7602	0.7612
	2022年 6月末日	33,779		0.6710	
	7月末日	32,699		0.6581	
	8月末日	33,491		0.6833	
	9月末日	30,649		0.6326	
	10月末日	32,879		0.6863	
	11月末日	33,235		0.7053	
	12月末日	31,447		0.6748	
	2023年 1月末日	32,961		0.7117	
	2月末日	33,454		0.7297	
	3月末日	32,401		0.7135	
	4月末日	33,320		0.7412	
	5月末日	34,034		0.7673	
	6月末日	36,067		0.8306	

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型

2023年6月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第4計算期間	(2013年11月18日)	6,247	6,251	1.6747	1.6757
第5計算期間	(2014年 5月19日)	6,267	6,270	1.7622	1.7632
第6計算期間	(2014年11月17日)	13,269	13,275	1.9462	1.9472
第7計算期間	(2015年 5月18日)	23,526	23,537	1.9832	1.9842
第8計算期間	(2015年11月17日)	22,031	22,044	1.7023	1.7033
第9計算期間	(2016年 5月17日)	16,112	16,122	1.4849	1.4859

第10計算期間	(2016年11月17日)	13,889	13,898	1.5798	1.5808
第11計算期間	(2017年 5月17日)	12,828	12,834	1.9320	1.9330
第12計算期間	(2017年11月17日)	9,283	9,287	1.9387	1.9397
第13計算期間	(2018年 5月17日)	7,087	7,091	1.9749	1.9759
第14計算期間	(2018年11月19日)	5,115	5,118	1.7904	1.7914
第15計算期間	(2019年 5月17日)	4,554	4,556	1.8239	1.8249
第16計算期間	(2019年11月18日)	4,110	4,113	1.9022	1.9032
第17計算期間	(2020年 5月18日)	2,411	2,413	1.2733	1.2743
第18計算期間	(2020年11月17日)	2,720	2,722	1.6230	1.6240
第19計算期間	(2021年 5月17日)	2,846	2,847	2.0592	2.0602
第20計算期間	(2021年11月17日)	2,609	2,610	2.2325	2.2335
第21計算期間	(2022年 5月17日)	2,633	2,634	2.4848	2.4858
第22計算期間	(2022年11月17日)	2,575	2,576	2.6637	2.6647
第23計算期間	(2023年 5月17日)	2,731	2,732	2.9191	2.9201
	2022年 6月末日	2,598		2.5377	
	7月末日	2,524		2.4929	
	8月末日	2,549		2.5919	
	9月末日	2,360		2.4046	
	10月末日	2,539		2.6120	
	11月末日	2,591		2.6872	
	12月末日	2,469		2.5755	
	2023年 1月末日	2,602		2.7200	
	2月末日	2,651		2.7927	
	3月末日	2,599		2.7346	
	4月末日	2,703		2.8440	
	5月末日	2,738		2.9463	
	6月末日	3,087		3.1948	

分配の推移

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型

	計算期間	1口当たりの分配金
第4特定期間	2013年 5月18日～2013年11月18日	0.0240円
第5特定期間	2013年11月19日～2014年 5月19日	0.0240円
第6特定期間	2014年 5月20日～2014年11月17日	0.0240円
第7特定期間	2014年11月18日～2015年 5月18日	0.0240円
第8特定期間	2015年 5月19日～2015年11月17日	0.0240円
第9特定期間	2015年11月18日～2016年 5月17日	0.0240円
第10特定期間	2016年 5月18日～2016年11月17日	0.0240円
第11特定期間	2016年11月18日～2017年 5月17日	0.0240円
第12特定期間	2017年 5月18日～2017年11月17日	0.0240円

第13特定期間	2017年11月18日～2018年 5月17日	0.0240円
第14特定期間	2018年 5月18日～2018年11月19日	0.0240円
第15特定期間	2018年11月20日～2019年 5月17日	0.0240円
第16特定期間	2019年 5月18日～2019年11月18日	0.0240円
第17特定期間	2019年11月19日～2020年 5月18日	0.0240円
第18特定期間	2020年 5月19日～2020年11月17日	0.0240円
第19特定期間	2020年11月18日～2021年 5月17日	0.0240円
第20特定期間	2021年 5月18日～2021年11月17日	0.0240円
第21特定期間	2021年11月18日～2022年 5月17日	0.0240円
第22特定期間	2022年 5月18日～2022年11月17日	0.0240円
第23特定期間	2022年11月18日～2023年 5月17日	0.0240円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型

	計算期間	1口当たりの分配金
第4計算期間	2013年 5月18日～2013年11月18日	0.0010円
第5計算期間	2013年11月19日～2014年 5月19日	0.0010円
第6計算期間	2014年 5月20日～2014年11月17日	0.0010円
第7計算期間	2014年11月18日～2015年 5月18日	0.0010円
第8計算期間	2015年 5月19日～2015年11月17日	0.0010円
第9計算期間	2015年11月18日～2016年 5月17日	0.0010円
第10計算期間	2016年 5月18日～2016年11月17日	0.0010円
第11計算期間	2016年11月18日～2017年 5月17日	0.0010円
第12計算期間	2017年 5月18日～2017年11月17日	0.0010円
第13計算期間	2017年11月18日～2018年 5月17日	0.0010円
第14計算期間	2018年 5月18日～2018年11月19日	0.0010円
第15計算期間	2018年11月20日～2019年 5月17日	0.0010円
第16計算期間	2019年 5月18日～2019年11月18日	0.0010円
第17計算期間	2019年11月19日～2020年 5月18日	0.0010円
第18計算期間	2020年 5月19日～2020年11月17日	0.0010円
第19計算期間	2020年11月18日～2021年 5月17日	0.0010円
第20計算期間	2021年 5月18日～2021年11月17日	0.0010円
第21計算期間	2021年11月18日～2022年 5月17日	0.0010円
第22計算期間	2022年 5月18日～2022年11月17日	0.0010円
第23計算期間	2022年11月18日～2023年 5月17日	0.0010円

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型

	計算期間	1口当たりの分配金
第4特定期間	2013年 5月18日～2013年11月18日	0.0720円

第5特定期間	2013年11月19日～2014年 5月19日	0.1320円
第6特定期間	2014年 5月20日～2014年11月17日	0.1440円
第7特定期間	2014年11月18日～2015年 5月18日	0.1360円
第8特定期間	2015年 5月19日～2015年11月17日	0.1200円
第9特定期間	2015年11月18日～2016年 5月17日	0.1050円
第10特定期間	2016年 5月18日～2016年11月17日	0.0550円
第11特定期間	2016年11月18日～2017年 5月17日	0.0300円
第12特定期間	2017年 5月18日～2017年11月17日	0.0300円
第13特定期間	2017年11月18日～2018年 5月17日	0.0300円
第14特定期間	2018年 5月18日～2018年11月19日	0.0300円
第15特定期間	2018年11月20日～2019年 5月17日	0.0300円
第16特定期間	2019年 5月18日～2019年11月18日	0.0300円
第17特定期間	2019年11月19日～2020年 5月18日	0.0300円
第18特定期間	2020年 5月19日～2020年11月17日	0.0060円
第19特定期間	2020年11月18日～2021年 5月17日	0.0060円
第20特定期間	2021年 5月18日～2021年11月17日	0.0060円
第21特定期間	2021年11月18日～2022年 5月17日	0.0060円
第22特定期間	2022年 5月18日～2022年11月17日	0.0060円
第23特定期間	2022年11月18日～2023年 5月17日	0.0060円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型

	計算期間	1口当たりの分配金
第4計算期間	2013年 5月18日～2013年11月18日	0.0010円
第5計算期間	2013年11月19日～2014年 5月19日	0.0010円
第6計算期間	2014年 5月20日～2014年11月17日	0.0010円
第7計算期間	2014年11月18日～2015年 5月18日	0.0010円
第8計算期間	2015年 5月19日～2015年11月17日	0.0010円
第9計算期間	2015年11月18日～2016年 5月17日	0.0010円
第10計算期間	2016年 5月18日～2016年11月17日	0.0010円
第11計算期間	2016年11月18日～2017年 5月17日	0.0010円
第12計算期間	2017年 5月18日～2017年11月17日	0.0010円
第13計算期間	2017年11月18日～2018年 5月17日	0.0010円
第14計算期間	2018年 5月18日～2018年11月19日	0.0010円
第15計算期間	2018年11月20日～2019年 5月17日	0.0010円
第16計算期間	2019年 5月18日～2019年11月18日	0.0010円
第17計算期間	2019年11月19日～2020年 5月18日	0.0010円
第18計算期間	2020年 5月19日～2020年11月17日	0.0010円
第19計算期間	2020年11月18日～2021年 5月17日	0.0010円
第20計算期間	2021年 5月18日～2021年11月17日	0.0010円

第21計算期間	2021年11月18日～2022年 5月17日	0.0010円
第22計算期間	2022年 5月18日～2022年11月17日	0.0010円
第23計算期間	2022年11月18日～2023年 5月17日	0.0010円

収益率の推移

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型

	計算期間	収益率
第4特定期間	2013年 5月18日～2013年11月18日	5.3%
第5特定期間	2013年11月19日～2014年 5月19日	2.3%
第6特定期間	2014年 5月20日～2014年11月17日	2.2%
第7特定期間	2014年11月18日～2015年 5月18日	5.1%
第8特定期間	2015年 5月19日～2015年11月17日	7.8%
第9特定期間	2015年11月18日～2016年 5月17日	3.8%
第10特定期間	2016年 5月18日～2016年11月17日	5.8%
第11特定期間	2016年11月18日～2017年 5月17日	7.2%
第12特定期間	2017年 5月18日～2017年11月17日	2.3%
第13特定期間	2017年11月18日～2018年 5月17日	3.7%
第14特定期間	2018年 5月18日～2018年11月19日	4.9%
第15特定期間	2018年11月20日～2019年 5月17日	1.1%
第16特定期間	2019年 5月18日～2019年11月18日	3.6%
第17特定期間	2019年11月19日～2020年 5月18日	18.8%
第18特定期間	2020年 5月19日～2020年11月17日	18.1%
第19特定期間	2020年11月18日～2021年 5月17日	16.6%
第20特定期間	2021年 5月18日～2021年11月17日	4.6%
第21特定期間	2021年11月18日～2022年 5月17日	3.3%
第22特定期間	2022年 5月18日～2022年11月17日	2.8%
第23特定期間	2022年11月18日～2023年 5月17日	4.2%

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型

	計算期間	収益率
第4計算期間	2013年 5月18日～2013年11月18日	5.5%
第5計算期間	2013年11月19日～2014年 5月19日	2.4%
第6計算期間	2014年 5月20日～2014年11月17日	2.2%
第7計算期間	2014年11月18日～2015年 5月18日	5.1%
第8計算期間	2015年 5月19日～2015年11月17日	7.8%

第9計算期間	2015年11月18日～2016年 5月17日	3.8%
第10計算期間	2016年 5月18日～2016年11月17日	5.9%
第11計算期間	2016年11月18日～2017年 5月17日	7.2%
第12計算期間	2017年 5月18日～2017年11月17日	2.3%
第13計算期間	2017年11月18日～2018年 5月17日	3.7%
第14計算期間	2018年 5月18日～2018年11月19日	4.9%
第15計算期間	2018年11月20日～2019年 5月17日	1.0%
第16計算期間	2019年 5月18日～2019年11月18日	3.6%
第17計算期間	2019年11月19日～2020年 5月18日	19.0%
第18計算期間	2020年 5月19日～2020年11月17日	18.0%
第19計算期間	2020年11月18日～2021年 5月17日	16.7%
第20計算期間	2021年 5月18日～2021年11月17日	4.5%
第21計算期間	2021年11月18日～2022年 5月17日	3.3%
第22計算期間	2022年 5月18日～2022年11月17日	2.6%
第23計算期間	2022年11月18日～2023年 5月17日	4.2%

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型

	計算期間	収益率
第4特定期間	2013年 5月18日～2013年11月18日	4.4%
第5特定期間	2013年11月19日～2014年 5月19日	5.0%
第6特定期間	2014年 5月20日～2014年11月17日	9.6%
第7特定期間	2014年11月18日～2015年 5月18日	1.7%
第8特定期間	2015年 5月19日～2015年11月17日	13.5%
第9特定期間	2015年11月18日～2016年 5月17日	12.7%
第10特定期間	2016年 5月18日～2016年11月17日	5.9%
第11特定期間	2016年11月18日～2017年 5月17日	22.1%
第12特定期間	2017年 5月18日～2017年11月17日	0.4%
第13特定期間	2017年11月18日～2018年 5月17日	2.0%
第14特定期間	2018年 5月18日～2018年11月19日	9.2%
第15特定期間	2018年11月20日～2019年 5月17日	1.9%
第16特定期間	2019年 5月18日～2019年11月18日	4.2%
第17特定期間	2019年11月19日～2020年 5月18日	31.9%
第18特定期間	2020年 5月19日～2020年11月17日	27.4%
第19特定期間	2020年11月18日～2021年 5月17日	26.8%
第20特定期間	2021年 5月18日～2021年11月17日	8.4%
第21特定期間	2021年11月18日～2022年 5月17日	11.2%
第22特定期間	2022年 5月18日～2022年11月17日	7.2%
第23特定期間	2022年11月18日～2023年 5月17日	9.6%

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型

	計算期間	収益率
第4計算期間	2013年 5月18日～2013年11月18日	4.0%
第5計算期間	2013年11月19日～2014年 5月19日	5.3%
第6計算期間	2014年 5月20日～2014年11月17日	10.5%
第7計算期間	2014年11月18日～2015年 5月18日	2.0%
第8計算期間	2015年 5月19日～2015年11月17日	14.1%
第9計算期間	2015年11月18日～2016年 5月17日	12.7%
第10計算期間	2016年 5月18日～2016年11月17日	6.5%
第11計算期間	2016年11月18日～2017年 5月17日	22.4%
第12計算期間	2017年 5月18日～2017年11月17日	0.4%
第13計算期間	2017年11月18日～2018年 5月17日	1.9%
第14計算期間	2018年 5月18日～2018年11月19日	9.3%
第15計算期間	2018年11月20日～2019年 5月17日	1.9%
第16計算期間	2019年 5月18日～2019年11月18日	4.3%
第17計算期間	2019年11月19日～2020年 5月18日	33.0%
第18計算期間	2020年 5月19日～2020年11月17日	27.5%
第19計算期間	2020年11月18日～2021年 5月17日	26.9%
第20計算期間	2021年 5月18日～2021年11月17日	8.5%
第21計算期間	2021年11月18日～2022年 5月17日	11.3%
第22計算期間	2022年 5月18日～2022年11月17日	7.2%
第23計算期間	2022年11月18日～2023年 5月17日	9.6%

各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

（４）設定及び解約の実績

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第4特定期間	2013年 5月18日～2013年11月18日	755,116,213	2,475,390,790	2,614,764,646
第5特定期間	2013年11月19日～2014年 5月19日	1,019,670,699	604,003,195	3,030,432,150
第6特定期間	2014年 5月20日～2014年11月17日	827,699,414	810,595,927	3,047,535,637
第7特定期間	2014年11月18日～2015年 5月18日	1,653,105,051	1,233,515,681	3,467,125,007
第8特定期間	2015年 5月19日～2015年11月17日	865,107,074	671,438,547	3,660,793,534
第9特定期間	2015年11月18日～2016年 5月17日	735,306,670	759,921,495	3,636,178,709

第10特定期間	2016年 5月18日～2016年11月17日	591,035,296	1,071,862,089	3,155,351,916
第11特定期間	2016年11月18日～2017年 5月17日	593,855,102	651,741,047	3,097,465,971
第12特定期間	2017年 5月18日～2017年11月17日	219,898,411	815,862,112	2,501,502,270
第13特定期間	2017年11月18日～2018年 5月17日	112,978,265	441,510,030	2,172,970,505
第14特定期間	2018年 5月18日～2018年11月19日	262,248,606	479,169,543	1,956,049,568
第15特定期間	2018年11月20日～2019年 5月17日	168,745,676	148,383,417	1,976,411,827
第16特定期間	2019年 5月18日～2019年11月18日	87,682,610	203,685,883	1,860,408,554
第17特定期間	2019年11月19日～2020年 5月18日	281,247,864	191,494,600	1,950,161,818
第18特定期間	2020年 5月19日～2020年11月17日	788,887,658	264,811,335	2,474,238,141
第19特定期間	2020年11月18日～2021年 5月17日	131,053,185	229,912,421	2,375,378,905
第20特定期間	2021年 5月18日～2021年11月17日	197,533,994	354,330,399	2,218,582,500
第21特定期間	2021年11月18日～2022年 5月17日	64,079,029	29,327,666	2,253,333,863
第22特定期間	2022年 5月18日～2022年11月17日	109,273,528	80,872,098	2,281,735,293
第23特定期間	2022年11月18日～2023年 5月17日	84,643,601	166,141,411	2,200,237,483

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第4計算期間	2013年 5月18日～2013年11月18日	515,919,885	1,142,467,851	1,397,009,366
第5計算期間	2013年11月19日～2014年 5月19日	427,540,639	395,891,474	1,428,658,531
第6計算期間	2014年 5月20日～2014年11月17日	955,688,788	579,904,532	1,804,442,787
第7計算期間	2014年11月18日～2015年 5月18日	981,782,848	351,272,099	2,434,953,536
第8計算期間	2015年 5月19日～2015年11月17日	596,199,773	359,634,157	2,671,519,152
第9計算期間	2015年11月18日～2016年 5月17日	235,525,415	517,377,089	2,389,667,478
第10計算期間	2016年 5月18日～2016年11月17日	79,473,926	473,834,061	1,995,307,343
第11計算期間	2016年11月18日～2017年 5月17日	181,708,362	678,068,405	1,498,947,300
第12計算期間	2017年 5月18日～2017年11月17日	29,288,460	347,666,191	1,180,569,569
第13計算期間	2017年11月18日～2018年 5月17日	15,848,879	336,440,454	859,977,994
第14計算期間	2018年 5月18日～2018年11月19日	71,217,199	145,220,490	785,974,703
第15計算期間	2018年11月20日～2019年 5月17日	14,560,671	77,832,971	722,702,403
第16計算期間	2019年 5月18日～2019年11月18日	25,767,188	87,463,114	661,006,477
第17計算期間	2019年11月19日～2020年 5月18日	102,451,836	61,631,687	701,826,626
第18計算期間	2020年 5月19日～2020年11月17日	7,782,704	177,182,322	532,427,008
第19計算期間	2020年11月18日～2021年 5月17日	28,267,177	83,993,843	476,700,342
第20計算期間	2021年 5月18日～2021年11月17日	109,767,398	5,830,959	580,636,781
第21計算期間	2021年11月18日～2022年 5月17日	17,086,718	35,616,294	562,107,205
第22計算期間	2022年 5月18日～2022年11月17日	156,948,451	23,160,432	695,895,224
第23計算期間	2022年11月18日～2023年 5月17日	9,830,711	6,484,823	699,241,112

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第4特定期間	2013年 5月18日～2013年11月18日	7,200,566,088	29,062,805,450	37,223,780,490
第5特定期間	2013年11月19日～2014年 5月19日	17,081,401,941	6,976,908,970	47,328,273,461
第6特定期間	2014年 5月20日～2014年11月17日	120,505,669,040	4,518,943,986	163,314,998,515
第7特定期間	2014年11月18日～2015年 5月18日	199,241,596,978	11,604,146,820	350,952,448,673
第8特定期間	2015年 5月19日～2015年11月17日	75,121,933,392	33,000,943,406	393,073,438,659
第9特定期間	2015年11月18日～2016年 5月17日	40,855,263,833	49,711,958,980	384,216,743,512
第10特定期間	2016年 5月18日～2016年11月17日	16,493,845,941	70,720,946,298	329,989,643,155
第11特定期間	2016年11月18日～2017年 5月17日	6,909,732,808	65,499,830,727	271,399,545,236
第12特定期間	2017年 5月18日～2017年11月17日	4,503,873,229	60,689,141,582	215,214,276,883
第13特定期間	2017年11月18日～2018年 5月17日	3,845,952,947	48,120,094,055	170,940,135,775
第14特定期間	2018年 5月18日～2018年11月19日	1,951,617,163	38,288,084,231	134,603,668,707
第15特定期間	2018年11月20日～2019年 5月17日	1,699,485,927	18,701,085,852	117,602,068,782
第16特定期間	2019年 5月18日～2019年11月18日	2,788,832,949	18,226,782,789	102,164,118,942
第17特定期間	2019年11月19日～2020年 5月18日	3,535,876,964	14,414,409,536	91,285,586,370
第18特定期間	2020年 5月19日～2020年11月17日	1,453,754,775	16,195,473,574	76,543,867,571
第19特定期間	2020年11月18日～2021年 5月17日	278,805,839	11,851,782,486	64,970,890,924
第20特定期間	2021年 5月18日～2021年11月17日	206,572,274	7,263,180,149	57,914,283,049
第21特定期間	2021年11月18日～2022年 5月17日	151,580,779	6,354,306,997	51,711,556,831
第22特定期間	2022年 5月18日～2022年11月17日	107,682,970	4,422,943,565	47,396,296,236
第23特定期間	2022年11月18日～2023年 5月17日	126,728,231	2,903,040,549	44,619,983,918

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第4計算期間	2013年 5月18日～2013年11月18日	1,415,224,673	3,379,902,334	3,730,691,201
第5計算期間	2013年11月19日～2014年 5月19日	1,104,531,515	1,278,881,081	3,556,341,635
第6計算期間	2014年 5月20日～2014年11月17日	4,323,348,719	1,061,590,683	6,818,099,671
第7計算期間	2014年11月18日～2015年 5月18日	6,473,513,566	1,428,727,675	11,862,885,562
第8計算期間	2015年 5月19日～2015年11月17日	2,859,215,645	1,779,643,421	12,942,457,786
第9計算期間	2015年11月18日～2016年 5月17日	523,454,949	2,615,197,092	10,850,715,643
第10計算期間	2016年 5月18日～2016年11月17日	223,950,872	2,282,900,781	8,791,765,734
第11計算期間	2016年11月18日～2017年 5月17日	117,284,355	2,269,328,408	6,639,721,681
第12計算期間	2017年 5月18日～2017年11月17日	131,345,896	1,982,826,063	4,788,241,514
第13計算期間	2017年11月18日～2018年 5月17日	103,850,697	1,303,319,201	3,588,773,010
第14計算期間	2018年 5月18日～2018年11月19日	69,937,433	801,334,510	2,857,375,933
第15計算期間	2018年11月20日～2019年 5月17日	44,220,106	404,689,070	2,496,906,969

第16計算期間	2019年 5月18日 ~ 2019年11月18日	71,248,858	406,971,674	2,161,184,153
第17計算期間	2019年11月19日 ~ 2020年 5月18日	113,042,427	380,619,377	1,893,607,203
第18計算期間	2020年 5月19日 ~ 2020年11月17日	7,591,572	224,996,798	1,676,201,977
第19計算期間	2020年11月18日 ~ 2021年 5月17日	15,758,264	309,788,764	1,382,171,477
第20計算期間	2021年 5月18日 ~ 2021年11月17日	3,545,495	216,990,803	1,168,726,169
第21計算期間	2021年11月18日 ~ 2022年 5月17日	17,406,026	126,354,424	1,059,777,771
第22計算期間	2022年 5月18日 ~ 2022年11月17日	5,443,446	98,357,912	966,863,305
第23計算期間	2022年11月18日 ~ 2023年 5月17日	4,129,101	35,213,212	935,779,194

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

参考情報

< 更新後 >

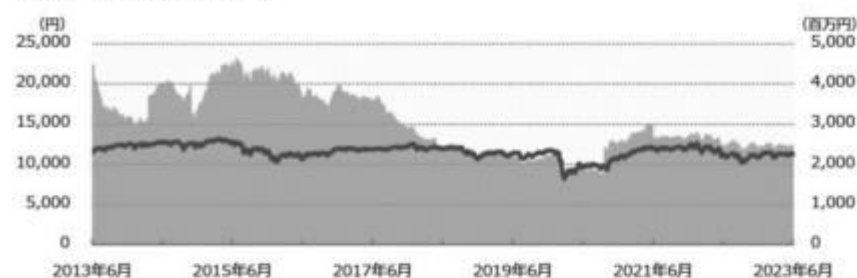


運用実績 (2023年6月30日現在)

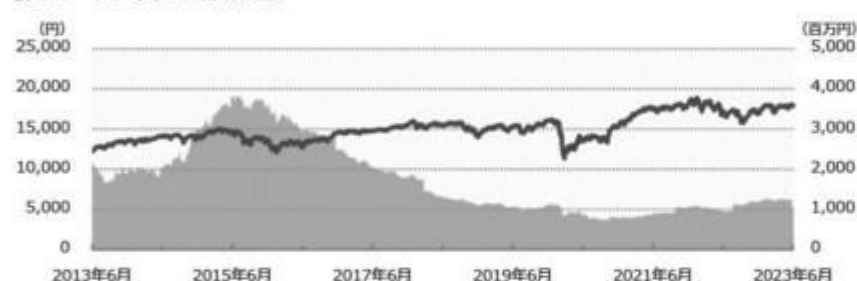
■ 基準価額・純資産の推移 (日次)

— 基準価額（分配後、1万口あたり）（左軸） — 純資産総額（右軸）

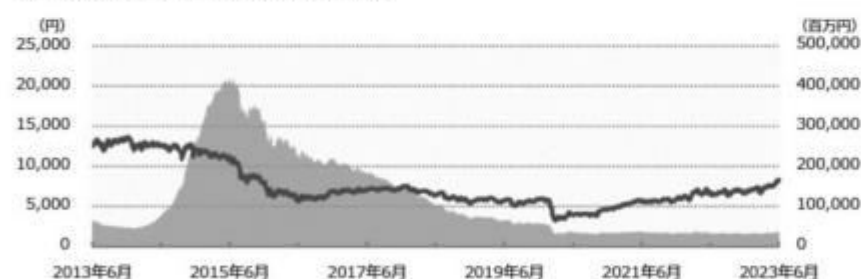
■ 円コース（毎月分配型）



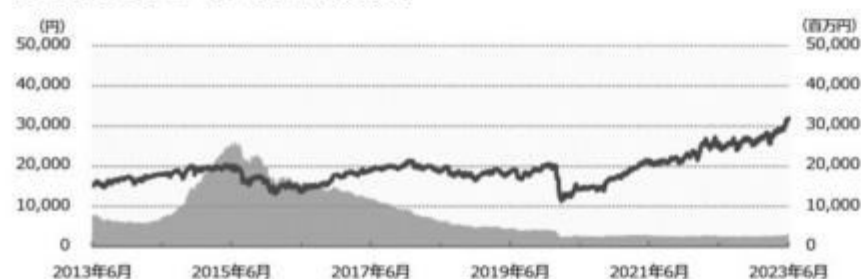
■ 円コース（年2回決算型）



■ 通貨セレクトコース（毎月分配型）



■ 通貨セレクトコース（年2回決算型）



■ 分配の推移

（1万口あたり、課税前）

■ 円コース（毎月分配型）

2023年6月	40 円
2023年5月	40 円
2023年4月	40 円
2023年3月	40 円
2023年2月	40 円
直近1年間累計	480 円
設定来累計	5,520 円

■ 円コース（年2回決算型）

2023年5月	10 円
2022年11月	10 円
2022年5月	10 円
2021年11月	10 円
2021年5月	10 円
設定来累計	230 円

■ 通貨セレクトコース（毎月分配型）

2023年6月	10 円
2023年5月	10 円
2023年4月	10 円
2023年3月	10 円
2023年2月	10 円
直近1年間累計	120 円
設定来累計	12,150 円

■ 通貨セレクトコース（年2回決算型）

2023年5月	10 円
2022年11月	10 円
2022年5月	10 円
2021年11月	10 円
2021年5月	10 円
設定来累計	230 円

■ 主要な資産の状況

実質的な銘柄別投資比率（上位）

■ 毎月分配型

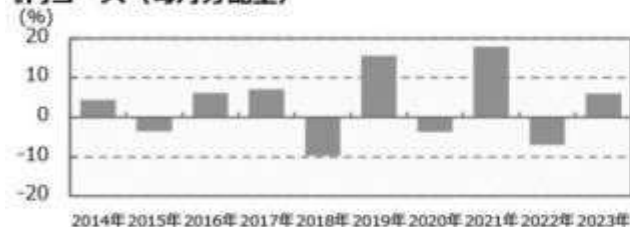
順位	銘柄	業種	投資比率（%）	
			円コース	通貨セレクトコース
1	APPLE INC	テクノロジー	2.8	2.8
2	MICROSOFT CORP	テクノロジー	2.6	2.6
3	AMAZON.COM INC	通信	1.6	1.6
4	BHP GROUP LTD	素材	1.4	1.4
5	SANOFI	生活必需品	1.4	1.4
6	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	金融	1.2	1.2
7	ORANGE SA	通信	1.2	1.2
8	META PLATFORMS-A	通信	1.1	1.1
9	SWISS RE AG	金融	1.0	1.0
10	CSL LTD	生活必需品	1.0	1.0

■ 年2回決算型

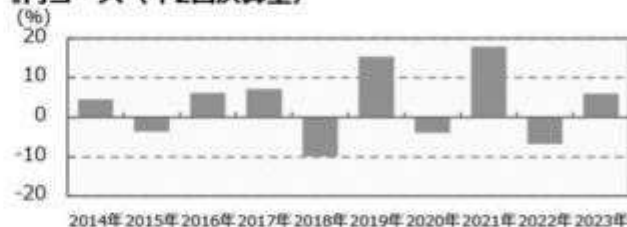
順位	銘柄	業種	投資比率（%）	
			円コース	通貨セレクトコース
1	APPLE INC	テクノロジー	2.8	2.8
2	MICROSOFT CORP	テクノロジー	2.6	2.6
3	AMAZON.COM INC	通信	1.6	1.6
4	BHP GROUP LTD	素材	1.4	1.4
5	SANOFI	生活必需品	1.4	1.4
6	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	金融	1.2	1.2
7	ORANGE SA	通信	1.2	1.2
8	META PLATFORMS-A	通信	1.1	1.1
9	SWISS RE AG	金融	1.0	1.0
10	CSL LTD	生活必需品	1.0	1.0

■ 年間収益率の推移（暦年ベース）

■ 円コース（毎月分配型）



■ 円コース（年2回決算型）



■ 通貨セレクトコース（毎月分配型）



■ 通貨セレクトコース（年2回決算型）



- ・ファンドの年間収益率は税引前分配金を再投資して算出。
- ・ファンドにベンチマークはありません。
- ・2023年は年初から運用実績作成基準日までの収益率。

●ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。●ファンドの運用状況は、別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。●グラフの縦軸の目盛りはファンドごとに異なる場合があります。

第3【ファンドの経理状況】

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型

(1)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2)当ファンドの計算期間は6ヶ月未満であるため、財務諸表は原則として6ヶ月毎に作成しております。

(3)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期(2022年11月18日から2023年5月17日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型

(1)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第23期計算期間(2022年11月18日から2023年5月17日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

1 財務諸表

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型

(1) 貸借対照表

(単位：円)

	前期 (2022年11月17日現在)	当期 (2023年 5月17日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	51,242,130	76,304,869
投資信託受益証券	2,472,630,180	2,421,001,584
親投資信託受益証券	1,002,556	1,002,457
流動資産合計	2,524,874,866	2,498,308,910
資産合計	2,524,874,866	2,498,308,910
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	9,126,941	8,800,949
未払解約金	27,505	14,240,490
未払受託者報酬	68,422	67,509
未払委託者報酬	1,938,621	1,912,756
未払利息	78	76
その他未払費用	6,830	6,738
流動負債合計	11,168,397	25,028,518
負債合計	11,168,397	25,028,518
純資産の部		
元本等		
元本	2,281,735,293	2,200,237,483

	前期 (2022年11月17日現在)	当期 (2023年 5月17日現在)
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	231,971,176	273,042,909
（分配準備積立金）	357,700,102	362,360,784
元本等合計	2,513,706,469	2,473,280,392
純資産合計	2,513,706,469	2,473,280,392
負債純資産合計	2,524,874,866	2,498,308,910

(2) 損益及び剰余金計算書

(単位：円)

	前期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	当期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
営業収益		
受取配当金	104,457,300	91,396,700
受取利息	-	3
有価証券売買等損益	165,649,988	21,246,731
営業収益合計	61,192,688	112,643,434
営業費用		
支払利息	6,118	5,973
受託者報酬	417,573	406,484
委託者報酬	11,831,114	11,517,010
その他費用	41,693	40,585
営業費用合計	12,296,498	11,970,052
営業利益又は営業損失（ ）	73,489,186	100,673,382
経常利益又は経常損失（ ）	73,489,186	100,673,382
当期純利益又は当期純損失（ ）	73,489,186	100,673,382
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	92,454	2,143,811
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	356,993,750	231,971,176
剰余金増加額又は欠損金減少額	10,073,457	11,549,327
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	10,073,457	11,549,327
剰余金減少額又は欠損金増加額	6,971,397	16,043,256
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	6,971,397	16,043,256
分配金	54,542,994	52,963,909
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	231,971,176	273,042,909

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	受取配当金

	原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当該財務諸表の特定期間は、2022年11月18日から2023年 5月17日までとなっております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

(貸借対照表に関する注記)

前期 2022年11月17日現在	当期 2023年 5月17日現在
1. 特定期間の末日における受益権の総数 2,281,735,293口	1. 特定期間の末日における受益権の総数 2,200,237,483口
2. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1017円 (10,000口当たり純資産額) (11,017円)	2. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1241円 (10,000口当たり純資産額) (11,241円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	当期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日																																																												
1. 分配金の計算過程 2022年 5月18日から2022年 6月17日まで	1. 分配金の計算過程 2022年11月18日から2022年12月19日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>15,922,074円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>1,052,849,316円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>326,011,925円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>1,394,783,315円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>2,237,012,580口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>6,235円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>40円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>8,948,050円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	15,922,074円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	1,052,849,316円	分配準備積立金額	D	326,011,925円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,394,783,315円	当ファンドの期末残存口数	F	2,237,012,580口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,235円	10,000口当たり分配金額	H	40円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	8,948,050円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>13,347,143円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>1,079,228,980円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>353,689,965円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>1,446,266,088円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>2,258,144,357口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>6,404円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>40円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>9,032,577円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	13,347,143円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	1,079,228,980円	分配準備積立金額	D	353,689,965円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,446,266,088円	当ファンドの期末残存口数	F	2,258,144,357口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,404円	10,000口当たり分配金額	H	40円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	9,032,577円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	15,922,074円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	1,052,849,316円																																																											
分配準備積立金額	D	326,011,925円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,394,783,315円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	2,237,012,580口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,235円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	40円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	8,948,050円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	13,347,143円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	1,079,228,980円																																																											
分配準備積立金額	D	353,689,965円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,446,266,088円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	2,258,144,357口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,404円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	40円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	9,032,577円																																																											
2022年 6月18日から2022年 7月19日まで	2022年12月20日から2023年 1月17日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>16,029,804円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	16,029,804円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>14,553,473円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	14,553,473円																																																
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	16,029,804円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	14,553,473円																																																											

費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,054,120,076円
分配準備積立金額	D	332,078,377円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,402,228,257円
当ファンドの期末残存口数	F	2,237,565,809口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,266円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	8,950,263円

2022年 7月20日から2022年 8月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	18,112,478円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,091,171,618円
分配準備積立金額	D	339,145,660円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,448,429,756円
当ファンドの期末残存口数	F	2,297,003,611口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,305円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	9,188,014円

2022年 8月18日から2022年 9月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	16,325,361円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,091,640,498円
分配準備積立金額	D	347,744,691円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,455,710,550円
当ファンドの期末残存口数	F	2,297,221,119口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,336円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	9,188,884円

2022年 9月21日から2022年10月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	13,875,575円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,087,452,035円
分配準備積立金額	D	351,574,714円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,452,902,324円
当ファンドの期末残存口数	F	2,285,210,694口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,357円

費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,031,811,773円
分配準備積立金額	D	342,051,717円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,388,416,963円
当ファンドの期末残存口数	F	2,158,114,019口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,433円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	8,632,456円

2023年 1月18日から2023年 2月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	14,266,822円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,060,632,516円
分配準備積立金額	D	347,074,720円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,421,974,058円
当ファンドの期末残存口数	F	2,201,348,282口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,459円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	8,805,393円

2023年 2月18日から2023年 3月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	13,229,199円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,068,001,194円
分配準備積立金額	D	352,260,566円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,433,490,959円
当ファンドの期末残存口数	F	2,212,388,573口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,479円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	8,849,554円

2023年 3月18日から2023年 4月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	14,976,132円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,067,703,174円
分配準備積立金額	D	355,896,532円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,438,575,838円
当ファンドの期末残存口数	F	2,210,745,178口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,507円

10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金額	$I=F \times H / 10,000$	9,140,842円

2022年10月18日から2022年11月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	15,253,561円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,090,107,284円
分配準備積立金額	D	351,573,482円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	1,456,934,327円
当ファンドの期末残存口数	F	2,281,735,293口
10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	6,385円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金額	$I=F \times H / 10,000$	9,126,941円

10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金額	$I=F \times H / 10,000$	8,842,980円

2023年 4月18日から2023年 5月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	13,169,832円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,065,097,960円
分配準備積立金額	D	357,991,901円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	1,436,259,693円
当ファンドの期末残存口数	F	2,200,237,483口
10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	6,527円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金額	$I=F \times H / 10,000$	8,800,949円

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	当期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
<p>1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、株式プレミアム戦略のリスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>1.金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制</p>

<p>委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。</p> <p>市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。</p> <p>信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。</p> <p>流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。</p>	同左
---	----

(2)金融商品の時価等に関する事項

前期 2022年11月17日現在	当期 2023年 5月17日現在
<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p> <p>2. 時価の算定方法 同左</p>

(関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	当期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

前期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日		当期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日	
期首元本額	2,253,333,863円	期首元本額	2,281,735,293円
期中追加設定元本額	109,273,528円	期中追加設定元本額	84,643,601円
期中一部解約元本額	80,872,098円	期中一部解約元本額	166,141,411円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	前期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	当期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	129,566,070	28,014,576
親投資信託受益証券	0	0
合計	129,566,070	28,014,576

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

(4) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(2023年5月17日現在)

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券(2023年5月17日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドV-グローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム-日本円クラス	301,232	2,421,001,584	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：97.9%	301,232	2,421,001,584 100.0%	
	合計			2,421,001,584	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	983,091	1,002,457	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	983,091	1,002,457 0.0%	
	合計			1,002,457	

合計		2,422,004,041
----	--	---------------

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型

（1）貸借対照表

（単位：円）

	第22期 (2022年11月17日現在)	第23期 (2023年 5月17日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	26,698,325	21,807,163
投資信託受益証券	1,169,046,116	1,230,199,479
親投資信託受益証券	1,002,556	1,002,457
流動資産合計	1,196,746,997	1,253,009,099
資産合計	1,196,746,997	1,253,009,099
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	695,895	699,241
未払受託者報酬	173,373	200,385
未払委託者報酬	4,912,349	5,677,455
未払利息	40	21
その他未払費用	17,272	19,977
流動負債合計	5,798,929	6,597,079
負債合計	5,798,929	6,597,079
純資産の部		
元本等		
元本	695,895,224	699,241,112
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	495,052,844	547,170,908
（分配準備積立金）	319,313,630	355,777,078
元本等合計	1,190,948,068	1,246,412,020
純資産合計	1,190,948,068	1,246,412,020
負債純資産合計	1,196,746,997	1,253,009,099

（2）損益及び剰余金計算書

（単位：円）

	第22期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	第23期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
営業収益		
受取配当金	43,514,100	44,907,450
受取利息	-	2
有価証券売買等損益	62,680,297	11,183,780
営業収益合計	19,166,197	56,091,232
営業費用		
支払利息	4,205	3,299
受託者報酬	173,373	200,385
委託者報酬	4,912,349	5,677,455
その他費用	17,272	19,977

	第22期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	第23期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
営業費用合計	5,107,199	5,901,116
営業利益又は営業損失（ ）	24,273,396	50,190,116
経常利益又は経常損失（ ）	24,273,396	50,190,116
当期純利益又は当期純損失（ ）	24,273,396	50,190,116
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	890,277	180,249
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	425,910,035	495,052,844
剰余金増加額又は欠損金減少額	110,631,291	7,390,047
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	110,631,291	7,390,047
剰余金減少額又は欠損金増加額	17,409,468	4,582,609
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	17,409,468	4,582,609
分配金	695,895	699,241
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	495,052,844	547,170,908

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2022年11月18日から2023年 5月17日までとなっております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

(貸借対照表に関する注記)

第22期 2022年11月17日現在	第23期 2023年 5月17日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 695,895,224口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 699,241,112口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.7114円	2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.7825円

(10,000口当たり純資産額)	(17,114円)	(10,000口当たり純資産額)	(17,825円)
------------------	-----------	------------------	-----------

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第22期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日			第23期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日		
1. 分配金の計算過程			1. 分配金の計算過程		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	37,760,422円	費用控除後の配当等収益額	A	40,092,503円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	565,218,902円	収益調整金額	C	572,608,945円
分配準備積立金額	D	282,249,103円	分配準備積立金額	D	316,383,816円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	885,228,427円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	929,085,264円
当ファンドの期末残存口数	F	695,895,224口	当ファンドの期末残存口数	F	699,241,112口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	12,720円	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	13,287円
10,000口当たり分配金額	H	10円	10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	695,895円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	699,241円

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

第22期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日		第23期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日	
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1. 金融商品に対する取組方針	同左
2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。これらは、株価変動リスク、株式プレミアム戦略のリスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。	2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制		3. 金融商品に係るリスク管理体制	

<p>委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。</p> <p>市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。</p> <p>信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。</p> <p>流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。</p>	同左
---	----

(2)金融商品の時価等に関する事項

第22期 2022年11月17日現在	第23期 2023年 5月17日現在
<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p> <p>2. 時価の算定方法 同左</p>

(関連当事者との取引に関する注記)

第22期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	第23期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

	第22期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	第23期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
期首元本額	562,107,205円	期首元本額 695,895,224円
期中追加設定元本額	156,948,451円	期中追加設定元本額 9,830,711円
期中一部解約元本額	23,160,432円	期中一部解約元本額 6,484,823円

2 有価証券関係 売買目的有価証券

種類	第22期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	第23期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	62,320,541	11,183,879
親投資信託受益証券	98	99
合計	62,320,639	11,183,780

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

（4）附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(2023年5月17日現在)

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券(2023年5月17日現在)

（単位：円）

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドV-グローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム-日本円クラス	153,067	1,230,199,479	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.7%	153,067	1,230,199,479 99.9%	
	合計			1,230,199,479	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	983,091	1,002,457	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.1%	983,091	1,002,457 0.1%	
	合計			1,002,457	

合計		1,231,201,936
----	--	---------------

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型

（1）貸借対照表

（単位：円）

	前期 (2022年11月17日現在)	当期 (2023年 5月17日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	393,990,035	680,705,620
投資信託受益証券	32,767,071,435	33,493,243,042
親投資信託受益証券	1,002,556	1,002,457
未収入金	133,421,405	-
流動資産合計	33,295,485,431	34,174,951,119
資産合計	33,295,485,431	34,174,951,119
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	47,396,296	44,619,983
未払解約金	85,373,065	181,687,261
未払受託者報酬	930,938	914,755
未払委託者報酬	26,376,492	25,918,035
未払利息	602	684
その他未払費用	93,082	91,466
流動負債合計	160,170,475	253,232,184
負債合計	160,170,475	253,232,184
純資産の部		
元本等		
元本	47,396,296,236	44,619,983,918
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	14,260,981,280	10,698,264,983
（分配準備積立金）	13,921,369,718	13,822,535,132
元本等合計	33,135,314,956	33,921,718,935
純資産合計	33,135,314,956	33,921,718,935
負債純資産合計	33,295,485,431	34,174,951,119

（2）損益及び剰余金計算書

（単位：円）

	前期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	当期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
営業収益		
受取配当金	1,173,475,180	1,114,806,300
受取利息	-	31
有価証券売買等損益	1,302,218,799	2,086,329,898
営業収益合計	2,475,693,979	3,201,136,229
営業費用		
支払利息	53,621	56,651
受託者報酬	5,537,976	5,348,929

	前期	当期
	自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
委託者報酬	156,909,012	151,552,873
その他費用	553,729	534,831
営業費用合計	163,054,338	157,493,284
営業利益又は営業損失（ ）	2,312,639,641	3,043,642,945
経常利益又は経常損失（ ）	2,312,639,641	3,043,642,945
当期純利益又は当期純損失（ ）	2,312,639,641	3,043,642,945
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	57,182,078	25,836,621
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	17,688,551,968	14,260,981,280
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,502,171,364	857,258,251
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,502,171,364	857,258,251
剰余金減少額又は欠損金増加額	35,979,365	37,685,559
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	35,979,365	37,685,559
分配金	294,078,874	274,662,719
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	14,260,981,280	10,698,264,983

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当該財務諸表の特定期間は、2022年11月18日から2023年 5月17日までとなっております。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

(貸借対照表に関する注記)

前期 2022年11月17日現在	当期 2023年 5月17日現在
1. 特定期間の末日における受益権の総数 47,396,296,236口	1. 特定期間の末日における受益権の総数 44,619,983,918口

2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額	元本の欠損 14,260,981,280円	2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額	元本の欠損 10,698,264,983円
3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 0.6991円 (10,000口当たり純資産額) (6,991円)	3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 0.7602円 (10,000口当たり純資産額) (7,602円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	当期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日																																																																																																																																																
<p>1. 分配金の計算過程</p> <p>2022年 5月18日から2022年 6月17日まで</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>170,804,570円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>35,120,471,707円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>14,130,900,538円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>49,422,176,815円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>50,714,053,877口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>9,745円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>50,714,053円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2022年 6月18日から2022年 7月19日まで</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>168,894,514円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>34,555,809,651円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>14,016,324,355円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>48,741,028,520円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>49,891,374,189口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>9,769円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>49,891,374円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2022年 7月20日から2022年 8月17日まで</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>192,735,191円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>34,082,320,884円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	170,804,570円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	35,120,471,707円	分配準備積立金額	D	14,130,900,538円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	49,422,176,815円	当ファンドの期末残存口数	F	50,714,053,877口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,745円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	50,714,053円	項目			費用控除後の配当等収益額	A	168,894,514円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	34,555,809,651円	分配準備積立金額	D	14,016,324,355円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	48,741,028,520円	当ファンドの期末残存口数	F	49,891,374,189口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,769円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	49,891,374円	項目			費用控除後の配当等収益額	A	192,735,191円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	34,082,320,884円	<p>1. 分配金の計算過程</p> <p>2022年11月18日から2022年12月19日まで</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>160,126,994円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>32,434,927,167円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>13,735,909,092円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>46,330,963,253円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>46,789,506,877口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>9,901円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>46,789,506円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2022年12月20日から2023年 1月17日まで</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>179,954,358円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>32,238,840,005円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>13,756,374,624円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>46,175,168,987円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>46,496,760,502口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>9,930円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>46,496,760円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2023年 1月18日から2023年 2月17日まで</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>182,412,970円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>31,930,559,685円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	160,126,994円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	32,434,927,167円	分配準備積立金額	D	13,735,909,092円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	46,330,963,253円	当ファンドの期末残存口数	F	46,789,506,877口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,901円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	46,789,506円	項目			費用控除後の配当等収益額	A	179,954,358円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	32,238,840,005円	分配準備積立金額	D	13,756,374,624円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	46,175,168,987円	当ファンドの期末残存口数	F	46,496,760,502口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,930円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	46,496,760円	項目			費用控除後の配当等収益額	A	182,412,970円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	31,930,559,685円
項目																																																																																																																																																	
費用控除後の配当等収益額	A	170,804,570円																																																																																																																																															
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																																																																																																															
収益調整金額	C	35,120,471,707円																																																																																																																																															
分配準備積立金額	D	14,130,900,538円																																																																																																																																															
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	49,422,176,815円																																																																																																																																															
当ファンドの期末残存口数	F	50,714,053,877口																																																																																																																																															
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,745円																																																																																																																																															
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																																																																																																															
収益分配金金額	I=F × H/10,000	50,714,053円																																																																																																																																															
項目																																																																																																																																																	
費用控除後の配当等収益額	A	168,894,514円																																																																																																																																															
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																																																																																																															
収益調整金額	C	34,555,809,651円																																																																																																																																															
分配準備積立金額	D	14,016,324,355円																																																																																																																																															
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	48,741,028,520円																																																																																																																																															
当ファンドの期末残存口数	F	49,891,374,189口																																																																																																																																															
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,769円																																																																																																																																															
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																																																																																																															
収益分配金金額	I=F × H/10,000	49,891,374円																																																																																																																																															
項目																																																																																																																																																	
費用控除後の配当等収益額	A	192,735,191円																																																																																																																																															
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																																																																																																															
収益調整金額	C	34,082,320,884円																																																																																																																																															
項目																																																																																																																																																	
費用控除後の配当等収益額	A	160,126,994円																																																																																																																																															
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																																																																																																															
収益調整金額	C	32,434,927,167円																																																																																																																																															
分配準備積立金額	D	13,735,909,092円																																																																																																																																															
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	46,330,963,253円																																																																																																																																															
当ファンドの期末残存口数	F	46,789,506,877口																																																																																																																																															
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,901円																																																																																																																																															
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																																																																																																															
収益分配金金額	I=F × H/10,000	46,789,506円																																																																																																																																															
項目																																																																																																																																																	
費用控除後の配当等収益額	A	179,954,358円																																																																																																																																															
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																																																																																																															
収益調整金額	C	32,238,840,005円																																																																																																																																															
分配準備積立金額	D	13,756,374,624円																																																																																																																																															
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	46,175,168,987円																																																																																																																																															
当ファンドの期末残存口数	F	46,496,760,502口																																																																																																																																															
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,930円																																																																																																																																															
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																																																																																																															
収益分配金金額	I=F × H/10,000	46,496,760円																																																																																																																																															
項目																																																																																																																																																	
費用控除後の配当等収益額	A	182,412,970円																																																																																																																																															
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																																																																																																															
収益調整金額	C	31,930,559,685円																																																																																																																																															

分配準備積立金額	D	13,935,731,355円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	48,210,787,430円
当ファンドの期末残存口数	F	49,200,389,604口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	9,798円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	49,200,389円

2022年 8月18日から2022年 9月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	162,639,902円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	33,695,688,037円
分配準備積立金額	D	13,913,827,244円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	47,772,155,183円
当ファンドの期末残存口数	F	48,635,251,070口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	9,822円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	48,635,251円

2022年 9月21日から2022年10月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	169,751,569円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	33,427,637,447円
分配準備積立金額	D	13,910,302,395円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	47,507,691,411円
当ファンドの期末残存口数	F	48,241,511,728口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	9,847円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	48,241,511円

2022年10月18日から2022年11月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	186,129,729円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	32,846,904,010円
分配準備積立金額	D	13,782,636,285円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	46,815,670,024円
当ファンドの期末残存口数	F	47,396,296,236口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	9,877円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	47,396,296円

分配準備積立金額	D	13,750,589,077円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	45,863,561,732円
当ファンドの期末残存口数	F	46,044,729,232口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	9,960円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	46,044,729円

2023年 2月18日から2023年 3月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	159,502,591円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	31,561,011,748円
分配準備積立金額	D	13,718,807,412円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	45,439,321,751円
当ファンドの期末残存口数	F	45,503,191,631口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	9,985円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	45,503,191円

2023年 3月18日から2023年 4月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	182,017,394円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	31,362,283,135円
分配準備積立金額	D	13,738,184,768円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	45,282,485,297円
当ファンドの期末残存口数	F	45,208,550,554口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	10,016円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	45,208,550円

2023年 4月18日から2023年 5月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	177,079,159円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	30,959,553,238円
分配準備積立金額	D	13,690,075,956円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	44,826,708,353円
当ファンドの期末残存口数	F	44,619,983,918口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F×10,000	10,046円
10,000口当たり分配金額	H	10円
収益分配金金額	I=F×H/10,000	44,619,983円

（金融商品に関する注記）

(1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	当期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
<p>1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、株式プレミアム戦略のリスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。</p>	<p>1.金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制 同左</p>

(2)金融商品の時価等に関する事項

前期 2022年11月17日現在	当期 2023年 5月17日現在
<p>1.貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>2.時価の算定方法</p>	<p>1.貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p> <p>2.時価の算定方法</p>

投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載して おります。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載して おります。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時 価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としてお ります。	同左
---	----

（関連当事者との取引に関する注記）

前期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	当期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般 の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていない ため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

前期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	当期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
期首元本額 51,711,556,831円	期首元本額 47,396,296,236円
期中追加設定元本額 107,682,970円	期中追加設定元本額 126,728,231円
期中一部解約元本額 4,422,943,565円	期中一部解約元本額 2,903,040,549円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	前期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	当期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	1,384,657,722	764,104,404
親投資信託受益証券	0	0
合計	1,384,657,722	764,104,404

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

(4) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(2023年5月17日現在)

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券(2023年5月17日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドV-グローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム-通貨セレクトクラス	9,096,481	33,493,243,042	
	小計	銘柄数:1 組入時価比率:98.7%	9,096,481	33,493,243,042 100.0%	
	合計			33,493,243,042	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	983,091	1,002,457	
	小計	銘柄数:1 組入時価比率:0.0%	983,091	1,002,457 0.0%	
	合計			1,002,457	
合計				33,494,245,499	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース)年2回決算型

(1) 貸借対照表

(単位:円)

	第22期 (2022年11月17日現在)	第23期 (2023年5月17日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	45,649,502	83,927,642
投資信託受益証券	2,543,387,885	2,692,046,434
親投資信託受益証券	1,002,556	1,002,457
流動資産合計	2,590,039,943	2,776,976,533
資産合計	2,590,039,943	2,776,976,533
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	966,863	935,779
未払解約金	1,110,866	31,867,086
未払受託者報酬	426,260	424,509
未払委託者報酬	12,077,380	12,027,769

	第22期 (2022年11月17日現在)	第23期 (2023年 5月17日現在)
未払利息	69	84
その他未払費用	42,562	42,391
流動負債合計	14,624,000	45,297,618
負債合計	14,624,000	45,297,618
純資産の部		
元本等		
元本	966,863,305	935,779,194
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	1,608,552,638	1,795,899,721
（分配準備積立金）	1,999,803,882	2,008,880,069
元本等合計	2,575,415,943	2,731,678,915
純資産合計	2,575,415,943	2,731,678,915
負債純資産合計	2,590,039,943	2,776,976,533

(2) 損益及び剰余金計算書

(単位：円)

	第22期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	第23期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
営業収益		
受取配当金	90,182,380	88,337,640
受取利息	-	5
有価証券売買等損益	104,357,365	166,839,740
営業収益合計	194,539,745	255,177,385
営業費用		
支払利息	5,703	6,724
受託者報酬	426,260	424,509
委託者報酬	12,077,380	12,027,769
その他費用	42,562	42,391
営業費用合計	12,551,905	12,501,393
営業利益又は営業損失（ ）	181,987,840	242,675,992
経常利益又は経常損失（ ）	181,987,840	242,675,992
当期純利益又は当期純損失（ ）	181,987,840	242,675,992
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	9,076,056	3,220,070
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	1,573,510,692	1,608,552,638
剰余金増加額又は欠損金減少額	8,474,640	7,145,050
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	8,474,640	7,145,050
剰余金減少額又は欠損金増加額	145,377,615	58,318,110
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	145,377,615	58,318,110
分配金	966,863	935,779
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	1,608,552,638	1,795,899,721

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
-------------------	---

2.費用・収益の計上基準	<p>親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。</p> <p>受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p> <p>投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。</p> <p>有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。</p>
3.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4.その他	当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、2022年11月18日から2023年 5月17日までとなっております。

（重要な会計上の見積りに関する注記）

該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

第22期 2022年11月17日現在	第23期 2023年 5月17日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 966,863,305口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 935,779,194口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 2.6637円 (10,000口当たり純資産額) (26,637円)	2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 2.9191円 (10,000口当たり純資産額) (29,191円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

第22期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	第23期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日																																																												
1. 分配金の計算過程	1. 分配金の計算過程																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>81,408,788円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>1,606,000,914円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>1,919,361,957円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>3,606,771,659円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>966,863,305口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>37,303円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>966,863円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	81,408,788円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	1,606,000,914円	分配準備積立金額	D	1,919,361,957円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,606,771,659円	当ファンドの期末残存口数	F	966,863,305口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	37,303円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	966,863円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>82,396,366円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>1,562,892,257円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>1,927,419,482円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>3,572,708,105円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>935,779,194口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>38,178円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>935,779円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	82,396,366円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	1,562,892,257円	分配準備積立金額	D	1,927,419,482円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,572,708,105円	当ファンドの期末残存口数	F	935,779,194口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	38,178円	10,000口当たり分配金額	H	10円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	935,779円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	81,408,788円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	1,606,000,914円																																																											
分配準備積立金額	D	1,919,361,957円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,606,771,659円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	966,863,305口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	37,303円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	966,863円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	82,396,366円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	1,562,892,257円																																																											
分配準備積立金額	D	1,927,419,482円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	3,572,708,105円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	935,779,194口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	38,178円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	10円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	935,779円																																																											

（金融商品に関する注記）

(1)金融商品の状況に関する事項

第22期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	第23期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
<p>1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、株価変動リスク、株式プレミアム戦略のリスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。</p>	<p>1.金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制 同左</p>

(2)金融商品の時価等に関する事項

第22期 2022年11月17日現在	第23期 2023年 5月17日現在
<p>1.貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>2.時価の算定方法</p>	<p>1.貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p> <p>2.時価の算定方法</p>

投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載して おります。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載して おります。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時 価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としてお ります。	同左
---	----

（関連当事者との取引に関する注記）

第22期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	第23期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般 の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていない ため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

第22期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	第23期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
期首元本額 1,059,777,771円	期首元本額 966,863,305円
期中追加設定元本額 5,443,446円	期中追加設定元本額 4,129,101円
期中一部解約元本額 98,357,912円	期中一部解約元本額 35,213,212円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	第22期 自 2022年 5月18日 至 2022年11月17日	第23期 自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	99,379,845	165,968,099
親投資信託受益証券	98	99
合計	99,379,747	165,968,000

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

（４）附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(2023年5月17日現在)

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券(2023年5月17日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドV-グローバル・ハイ・ディビデンド・エクイティ・プレミアム-通貨セレクトクラス	731,137	2,692,046,434	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.5%	731,137	2,692,046,434 100.0%	
	合計			2,692,046,434	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネー マザーファンド	983,091	1,002,457	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.0%	983,091	1,002,457 0.0%	
	合計			1,002,457	
合計				2,693,048,891	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

「野村グローバル高配当株プレミアム（通貨選択型）」の各ファンドは「野村マネー マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同親投資信託の受益証券です。なお、以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

野村マネー マザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

(2023年 5月17日現在)

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	3,323,545,721
特殊債券	592,663,208
社債券	100,012,168
未収利息	1,025,806
前払費用	288,417

(2023年 5月17日現在)

流動資産合計	4,017,535,320
資産合計	4,017,535,320
負債の部	
流動負債	
未払利息	3,339
流動負債合計	3,339
負債合計	3,339
純資産の部	
元本等	
元本	3,939,898,027
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	77,633,954
元本等合計	4,017,531,981
純資産合計	4,017,531,981
負債純資産合計	4,017,535,320

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	特殊債券、社債券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補 足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

該当事項はありません。

(貸借対照表に関する注記)

2023年 5月17日現在	
1. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	1.0197円
(10,000口当たり純資産額)	(10,197円)

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

自 2022年11月18日 至 2023年 5月17日
1. 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク

当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。

当ファンドが保有する有価証券の詳細は、附属明細表に記載しております。

これらは、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。

3.金融商品に係るリスク管理体制

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。

市場リスクの管理

市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。

信用リスクの管理

信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。

流動性リスクの管理

流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。

(2)金融商品の時価等に関する事項

2023年 5月17日現在

1.貸借対照表計上額、時価及び差額

貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。

2.時価の算定方法

特殊債券、社債券

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。

コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務

これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

（その他の注記）

元本の移動及び期末元本額の内訳

2023年 5月17日現在

期首	2022年11月18日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当ファンドの元本額	4,831,003,349円
同期中における追加設定元本額	519,311,120円
同期中における一部解約元本額	1,410,416,442円
期末元本額	3,939,898,027円
期末元本額の内訳*	
野村世界業種別投資シリーズ（マネープール・ファンド）	240,940,877円
ノムラ・アジア・シリーズ（マネープール・ファンド）	79,254,504円
ネクストコア	2,282,012円
野村世界高金利通貨投信	34,318,227円
野村新世界高金利通貨投信	982,608円
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（欧州通貨コース）	982,609円
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（円コース）	982,609円
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（豪ドルコース）	982,609円
野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）毎月分配型	98,261円

野村米国ハイ・イールド債券投信（ユーロコース）毎月分配型	98,261円
野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信（南アフリカランドコース）毎月分配型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型	98,261円
野村米国ハイ・イールド債券投信（米ドルコース）年2回決算型	98,261円
野村米国ハイ・イールド債券投信（ユーロコース）年2回決算型	9,826円
野村米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型	982,608円
野村米国ハイ・イールド債券投信（南アフリカランドコース）年2回決算型	98,260円
野村米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型	98,261円
野村日本ブランド株投資（円コース）毎月分配型	982,609円
野村日本ブランド株投資（豪ドルコース）毎月分配型	982,608円
野村日本ブランド株投資（ブラジルリアルコース）毎月分配型	982,608円
野村日本ブランド株投資（南アフリカランドコース）毎月分配型	98,261円
野村日本ブランド株投資（トルコリラコース）毎月分配型	982,607円
野村日本ブランド株投資（円コース）年2回決算型	982,608円
野村日本ブランド株投資（豪ドルコース）年2回決算型	982,608円
野村日本ブランド株投資（ブラジルリアルコース）年2回決算型	982,608円
野村日本ブランド株投資（南アフリカランドコース）年2回決算型	98,260円
野村日本ブランド株投資（トルコリラコース）年2回決算型	982,608円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型	982,608円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）毎月分配型	982,608円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型	982,608円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（南アフリカランドコース）毎月分配型	982,608円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）毎月分配型	982,608円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型	98,261円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（豪ドルコース）年2回決算型	98,260円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型	982,608円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（南アフリカランドコース）年2回決算型	98,261円
野村新米国ハイ・イールド債券投信（トルコリラコース）年2回決算型	98,260円
野村新エマージング債券投信（円コース）毎月分配型	982,608円
野村新エマージング債券投信（米ドルコース）毎月分配型	98,261円
野村新エマージング債券投信（豪ドルコース）毎月分配型	982,607円
野村新エマージング債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型	982,608円
野村新エマージング債券投信（南アフリカランドコース）毎月分配型	98,261円
野村新エマージング債券投信（中国元コース）毎月分配型	982,607円
野村新エマージング債券投信（インドネシアルピアコース）毎月分配型	982,608円
野村新エマージング債券投信（円コース）年2回決算型	982,608円
野村新エマージング債券投信（米ドルコース）年2回決算型	98,261円
野村新エマージング債券投信（豪ドルコース）年2回決算型	98,260円
野村新エマージング債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型	982,608円
野村新エマージング債券投信（南アフリカランドコース）年2回決算型	9,826円
野村新エマージング債券投信（中国元コース）年2回決算型	982,608円
野村新エマージング債券投信（インドネシアルピアコース）年2回決算型	98,261円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型	984,834円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信（資源国通貨コース）毎月分配型	984,834円

野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース)毎月分配型	984,834円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型	984,834円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(資源国通貨コース)年2回決算型	984,834円
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース)年2回決算型	984,834円
野村アジアC B投信(毎月分配型)	982,608円
野村グローバルC B投信(円コース)毎月分配型	984,543円
野村グローバルC B投信(資源国通貨コース)毎月分配型	984,543円
野村グローバルC B投信(アジア通貨コース)毎月分配型	984,543円
野村グローバルC B投信(円コース)年2回決算型	984,543円
野村グローバルC B投信(資源国通貨コース)年2回決算型	984,543円
野村グローバルC B投信(アジア通貨コース)年2回決算型	984,543円
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA向け)	10,000円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース)毎月分配型	984,252円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)毎月分配型	98,261円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)毎月分配型	984,252円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	984,252円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース)年2回決算型	984,252円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース)年2回決算型	98,261円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース)年2回決算型	984,252円
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型	984,252円
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース)毎月分配型	982,609円
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース)毎月分配型	982,609円
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース)年2回決算型	982,609円
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース)年2回決算型	982,609円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース)毎月分配型	982,607円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース)毎月分配型	982,607円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース)毎月分配型	982,608円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース)年2回決算型	98,261円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース)年2回決算型	98,261円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース)年2回決算型	98,261円
野村米国ブランド株投資(円コース)毎月分配型	98,261円
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース)毎月分配型	983,768円
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース)毎月分配型	983,768円
野村米国ブランド株投資(円コース)年2回決算型	983,768円
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース)年2回決算型	983,768円
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース)年2回決算型	983,768円
ノムラ・グローバルトレンド(円コース)毎月分配型	983,672円
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース)毎月分配型	983,672円
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース)毎月分配型	983,672円
ノムラ・グローバルトレンド(円コース)年2回決算型	983,672円
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース)年2回決算型	983,672円
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース)年2回決算型	983,672円
野村テンブルトン・トータル・リターン Aコース	983,381円
野村テンブルトン・トータル・リターン Bコース	98,261円
野村テンブルトン・トータル・リターン Cコース	983,381円
野村テンブルトン・トータル・リターン Dコース	983,381円
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)毎月分配型	982,609円
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース)年2回決算型	98,262円

野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）毎月分配型	982,609円
野村ドイツ・高配当インフラ関連株投信（通貨セレクトコース）年2回決算型	98,261円
野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型	983,091円
野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	983,091円
野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型	983,091円
野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型	983,091円
野村アジアハイ・イールド債券投信（円コース）毎月分配型	982,898円
野村アジアハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）毎月分配型	982,898円
野村アジアハイ・イールド債券投信（アジア通貨セレクトコース）毎月分配型	982,898円
野村アジアハイ・イールド債券投信（円コース）年2回決算型	982,898円
野村アジアハイ・イールド債券投信（通貨セレクトコース）年2回決算型	982,898円
野村アジアハイ・イールド債券投信（アジア通貨セレクトコース）年2回決算型	982,898円
野村豪ドル債オープン・プレミアム毎月分配型	982,801円
野村豪ドル債オープン・プレミアム年2回決算型	491,401円
野村グローバルREITプレミアム（円コース）毎月分配型	982,608円
野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	982,608円
野村グローバルREITプレミアム（円コース）年2回決算型	982,608円
野村グローバルREITプレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型	982,608円
野村日本高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型	982,415円
野村日本高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	982,415円
野村日本高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型	982,415円
野村日本高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型	982,415円
野村高配当インフラ関連株プレミアム（円コース）毎月分配型	982,029円
野村高配当インフラ関連株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型	982,029円
野村高配当インフラ関連株プレミアム（円コース）年2回決算型	982,029円
野村高配当インフラ関連株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型	982,029円
野村カルミニャック・ファンド Aコース	981,547円
野村カルミニャック・ファンド Bコース	981,547円
野村通貨選択日本株投信（米ドルコース）毎月分配型	981,451円
野村通貨選択日本株投信（ユーロコース）毎月分配型	966円
野村通貨選択日本株投信（豪ドルコース）毎月分配型	177,539円
野村通貨選択日本株投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型	398,357円
野村通貨選択日本株投信（トルコリラコース）毎月分配型	123,377円
野村通貨選択日本株投信（メキシコペソコース）毎月分配型	626,503円
野村通貨選択日本株投信（中国元コース）毎月分配型	23,859円
野村通貨選択日本株投信（インドネシアルピアコース）毎月分配型	27,600円
野村通貨選択日本株投信（インドルピーコース）毎月分配型	149,947円
野村通貨選択日本株投信（米ドルコース）年2回決算型	981,451円
野村通貨選択日本株投信（ユーロコース）年2回決算型	3,114円
野村通貨選択日本株投信（豪ドルコース）年2回決算型	132,547円
野村通貨選択日本株投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型	100,946円
野村通貨選択日本株投信（トルコリラコース）年2回決算型	18,851円
野村通貨選択日本株投信（メキシコペソコース）年2回決算型	373,897円
野村通貨選択日本株投信（中国元コース）年2回決算型	13,042円
野村通貨選択日本株投信（インドネシアルピアコース）年2回決算型	14,308円
野村通貨選択日本株投信（インドルピーコース）年2回決算型	63,772円
野村エマージング債券プレミアム毎月分配型	981,451円
野村エマージング債券プレミアム年2回決算型	981,451円

ノムラ THE USA Aコース	981,258円
ノムラ THE USA Bコース	981,258円
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	9,809円
野村日本ブランド株投資(メキシコペソコース)毎月分配型	9,809円
野村日本ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	9,809円
野村日本ブランド株投資(メキシコペソコース)年2回決算型	9,809円
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,808円
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,808円
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	9,808円
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	9,808円
野村米国ブランド株投資(米ドルコース)毎月分配型	9,807円
野村米国ブランド株投資(米ドルコース)年2回決算型	9,807円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,807円
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,807円
野村グローバルボンド投信 Aコース	98,049円
野村グローバルボンド投信 Bコース	980,489円
野村グローバルボンド投信 Cコース	98,049円
野村グローバルボンド投信 Dコース	980,489円
野村グローバルボンド投信 Eコース	98,049円
野村グローバルボンド投信 Fコース	980,489円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)毎月分配型	9,805円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型	9,805円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース)年2回決算型	9,805円
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型	9,805円
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース)毎月分配型	9,803円
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース)毎月分配型	980,297円
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース)毎月分配型	980,297円
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース)年2回決算型	9,803円
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース)年2回決算型	980,297円
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース)年2回決算型	9,803円
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA・EW向け)	9,801円
野村ブルーベイ・トータルリターンファンド(野村SMA・EW向け)	9,801円
グローバル・ストック Aコース	97,953円
グローバル・ストック Bコース	979,528円
グローバル・ストック Cコース	97,953円
グローバル・ストック Dコース	116,529円
野村グローバル・クオリティ・グロース Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794円
野村グローバル・クオリティ・グロース Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794円
野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794円
野村MFSグローバル・リサーチ・フォーカス株式 Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794円
野村ファンドラップ債券プレミア	9,795円
野村ファンドラップオルタナティブプレミア	9,795円
野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり)毎月分配型	9,797円
野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり)年2回決算型	9,797円
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Aコース	9,797円
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Bコース	9,797円

野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Cコース	9,797円
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Dコース	9,797円
(年3%目標払出)のむらップ・ファンド(普通型)	98,001円
(年6%目標払出)のむらップ・ファンド(普通型)	98,001円
野村ブラックロック循環経済関連株投信 Aコース	98,011円
野村ブラックロック循環経済関連株投信 Bコース	98,011円
野村環境リーダーズ戦略ファンド Aコース	98,020円
野村環境リーダーズ戦略ファンド Bコース	98,020円
マイライフ・エール(資産成長型)	98,049円
マイライフ・エール(年2%目標払出型)	98,049円
マイライフ・エール(年6%目標払出型)	98,049円
野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Aコース	98,059円
野村PIMCO・トレンド戦略ファンド Bコース	98,059円
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド30(非課税適格機関投資家専用)	1,248,281,712円
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド50(適格機関投資家転売制限付)	158,756,834円
野村日経225ターゲット(公社債運用移行型)Kプライス(適格機関投資家専用)	1,486,454,639円
野村アンジェロ・ゴードンBDCファンド(為替ヘッジあり)2210(適格機関投資家転売制限付)	478,525,202円
野村DC運用戦略ファンド	85,180,134円
野村DCテンプレートン・トータル・リターン Aコース	9,818円
野村DCテンプレートン・トータル・リターン Bコース	9,818円
野村DC運用戦略ファンド(マイルド)	7,492,405円

*は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1)株式(2023年5月17日現在)

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券(2023年5月17日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
特殊債券	日本円	日本政策投資銀行社債 財投機関債 第91回	100,000,000	100,008,545	
		日本高速道路保有・債務返済機構債 券 政府保証債第195回	292,000,000	292,566,880	
		預金保険機構債券 政府保証第22 1回	100,000,000	100,008,684	
		住宅金融支援機構債券 財投機関債 第136回	100,000,000	100,079,099	
	小計	銘柄数:4 組入時価比率:14.8%	592,000,000	592,663,208 85.6%	
合計			592,663,208		

社債券	日本円	三井住友ファイナンス&リース 第 18回社債間限定同順位特約付	100,000,000	100,012,168	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：2.5%	100,000,000	100,012,168 14.4%	
	合計			100,012,168	
合計				692,675,376	

(注1)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

2 ファンドの現況

純資産額計算書

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型

2023年6月30日現在

資産総額	2,477,434,017円
負債総額	3,515,513円
純資産総額（ - ）	2,473,918,504円
発行済口数	2,189,147,131口
1口当たり純資産額（ / ）	1.1301円

野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型

2023年6月30日現在

資産総額	1,041,150,797円
負債総額	12,230,298円
純資産総額（ - ）	1,028,920,499円
発行済口数	572,093,499口
1口当たり純資産額（ / ）	1.7985円

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型

2023年6月30日現在

資産総額	36,117,817,876円
負債総額	50,775,207円
純資産総額（ - ）	36,067,042,669円
発行済口数	43,420,558,947口
1口当たり純資産額（ / ）	0.8306円

野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型

2023年6月30日現在

資産総額	3,132,000,371円
負債総額	44,181,470円
純資産総額（ - ）	3,087,818,901円
発行済口数	966,514,302口
1口当たり純資産額（ / ）	3.1948円

（参考）野村マネー マザーファンド

2023年6月30日現在

資産総額	4,516,826,813円
負債総額	77,487,675円
純資産総額（ - ）	4,439,339,138円
発行済口数	4,353,857,486口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0196円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1 委託会社等の概況

< 更新後 >

(1) 資本金の額

2023年6月末現在、17,180百万円

会社が発行する株式総数 20,000,000株

発行済株式総数 5,150,693株

過去5年間における主な資本金の額の増減：該当事項はありません。

< 更新後 >

(2) 会社の機構

(a) 会社の意思決定機構

当社は監査等委員会設置会社であり、会社の機関として株主総会、取締役会のほか代表取締役および監査等委員会を設けております。各機関の権限は以下のとおりです。

株主総会

株主により構成され、取締役・会計監査人の選任・解任、剰余金の配当の承認、定款変更・合併等の重要事項の承認等を行います。

取締役会

取締役により構成され、当社の業務につき意思決定を行います。また代表取締役等を選任し、取締役の職務の執行を監督します。

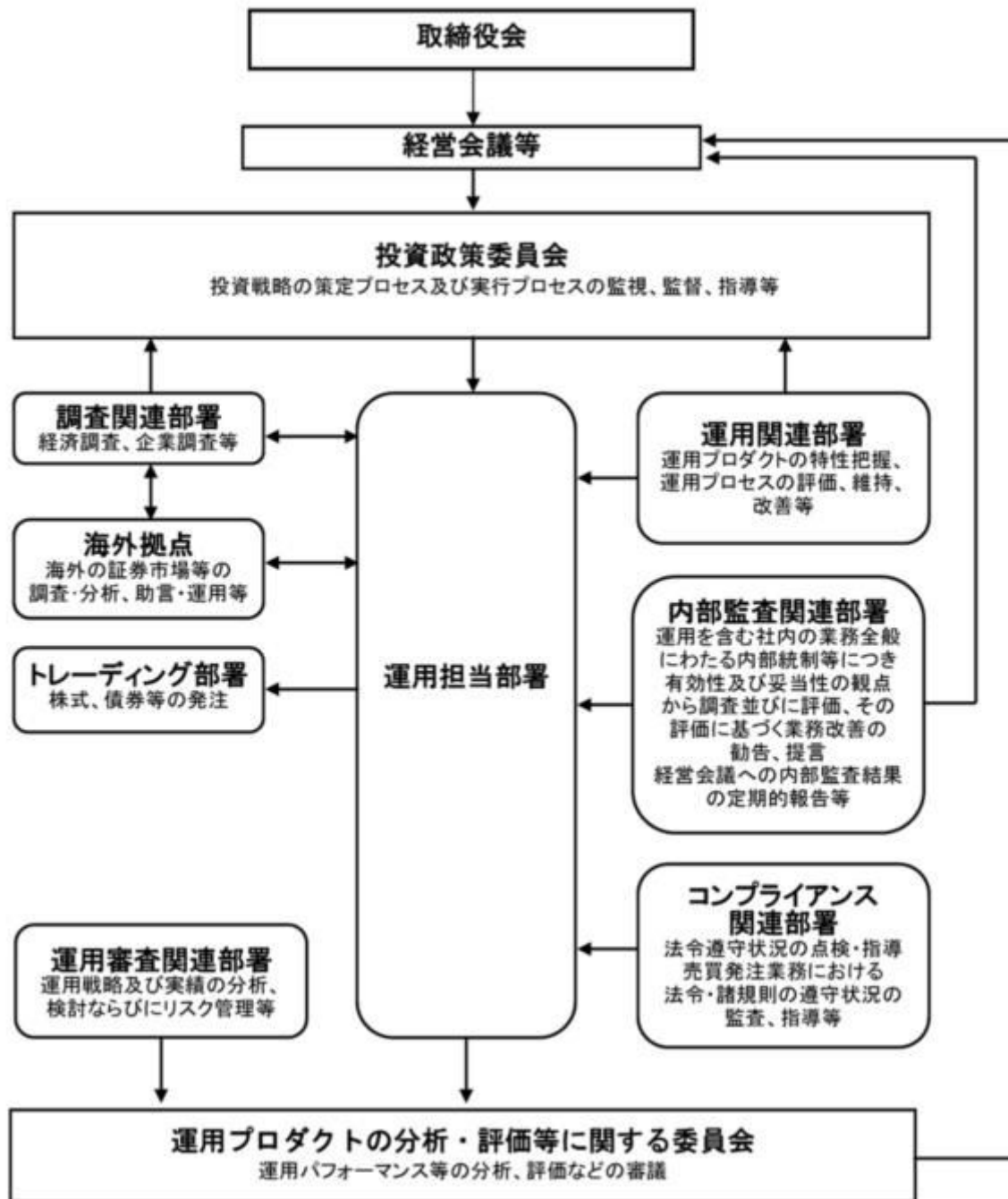
代表取締役・業務執行取締役

代表取締役を含む各業務執行取締役は、当社の業務の執行を行います。代表取締役は当社を代表いたします。また取締役会により委任された一定の事項について、代表取締役を含む業務執行取締役で構成される経営会議が意思決定を行います。なお、当社は執行役員制度を導入しており、経営会議の構成員には執行役員が含まれます。

監査等委員会

監査等委員である取締役3名以上（但し、過半数は社外取締役）で構成され、取締役の職務執行の適法性および妥当性に関する監査を行うとともに、株主総会に提出する会計監査人の選任・解任・不再任に関する議案の内容や監査等委員である取締役以外の取締役の選任・解任・辞任および報酬等についての監査等委員会としての意見を決定します。

(b)投資信託の運用体制



2 事業の内容及び営業の概況

<更新後>

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業に係る業務の一部及び投資助言業務を行っています。

委託者の運用する証券投資信託は2023年5月31日現在次の通りです(ただし、親投資信託を除きます。)

種類	本数	純資産総額(百万円)
追加型株式投資信託	998	42,317,159
単位型株式投資信託	191	818,734
追加型公社債投資信託	14	6,467,645
単位型公社債投資信託	475	1,049,011
合計	1,678	50,652,550

3 委託会社等の経理状況

< 更新後 >

1. 委託会社である野村アセットマネジメント株式会社(以下「委託会社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。
2. 財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
3. 委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人の監査を受けております。

(1) 貸借対照表

区分	注記 番号	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
		金額(百万円)	金額(百万円)
(資産の部)			
流動資産			
現金・預金		2,006	1,865
金銭の信託		35,894	42,108
有価証券		29,300	21,900
前払金		11	11
前払費用		454	775
未収入金		694	1,775
未収委託者報酬		27,176	26,116
未収運用受託報酬		4,002	3,780
短期貸付金		1,835	1,001
未収還付法人税等		-	2,083
その他		57	84
貸倒引当金		15	15
流動資産計		101,417	101,486
固定資産			
有形固定資産		1,744	1,335
建物	2	1,219	906

器具備品	2	525		428	
無形固定資産			5,210		5,563
ソフトウェア		5,209		5,562	
その他		0		0	
投資その他の資産			16,067		16,336
投資有価証券		2,201		1,793	
関係会社株式		9,214		10,025	
長期差入保証金		443		520	
長期前払費用		13		10	
前払年金費用		1,297		1,553	
繰延税金資産		2,784		2,340	
その他		112		92	
固定資産計			23,023		23,235
資産合計			124,440		124,722

区分	注記 番号	前事業年度 (2022年3月31日)		当事業年度 (2023年3月31日)	
		金額(百万円)		金額(百万円)	
(負債の部)					
流動負債					
預り金			120		124
未払金			17,615		17,879
未払収益分配金		0		0	
未払償還金		17		57	
未払手数料		8,357		8,409	
関係会社未払金		8,149		8,911	
その他未払金		1,089		500	
未払費用	1		9,512		9,682
未払法人税等			1,319		1,024
前受収益			22		22
賞与引当金			4,416		3,635
その他			121		46
流動負債計			33,127		32,414
固定負債					
退職給付引当金			3,194		2,940
時効後支払損引当金			588		595
資産除去債務			1,123		1,123
固定負債計			4,905		4,659
負債合計			38,033		37,074
(純資産の部)					
株主資本					
資本金			86,232		87,419
資本剰余金			17,180		17,180
資本剰余金			13,729		13,729
資本準備金		11,729		11,729	
その他資本剰余金		2,000		2,000	
利益剰余金			55,322		56,509
利益準備金		685		685	
その他利益剰余金		54,637		55,823	
別途積立金		24,606		24,606	
繰越利益剰余金		30,030		31,217	

評価・換算差額等		174	229
その他有価証券評価差額金		174	229
純資産合計		86,407	87,648
負債・純資産合計		124,440	124,722

(2) 損益計算書

区分	注記 番号	前事業年度	当事業年度
		(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
		金額(百万円)	金額(百万円)
営業収益			
委託者報酬		115,733	113,491
運用受託報酬		17,671	18,198
その他営業収益		530	331
営業収益計		133,935	132,021
営業費用			
支払手数料		39,087	38,684
広告宣伝費		804	1,187
公告費		0	0
調査費		26,650	29,050
調査費		4,867	6,045
委託調査費		21,783	23,004
委託計算費		1,384	1,363
営業雑経費		3,094	3,302
通信費		72	89
印刷費		918	903
協会費		79	83
諸経費		2,023	2,225
営業費用計		71,021	73,587
一般管理費			
給料		12,033	11,316
役員報酬		229	226
給料・手当		7,375	7,752
賞与		4,427	3,337
交際費		47	78
寄付金		73	115
旅費交通費		65	283
租税公課		1,049	963
不動産賃借料		1,432	1,232
退職給付費用		1,212	829
固定資産減価償却費		2,525	2,409
諸経費		11,116	12,439
一般管理費計		29,556	29,669
営業利益		33,357	28,763

		前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
区分	注記 番号	金額(百万円)		金額(百万円)	
営業外収益					
受取配当金	1	3,530		7,645	
受取利息		10		45	
為替差益		-		49	
その他		1,268		637	
営業外収益計			4,809		8,377
営業外費用					
金銭の信託運用損		1,387		1,736	
時効後支払損引当金繰入額		12		10	
為替差損		23		-	
その他		266		8	
営業外費用計			1,689		1,755
経常利益			36,477		35,385
特別利益					
投資有価証券等売却益		26		10	
株式報酬受入益		53		46	
固定資産売却益		9		-	
資産除去債務履行差額		141		-	
特別利益計			230		57
特別損失					
投資有価証券等売却損		0		16	
関係会社株式評価損		727		-	
固定資産除却損	2	374		52	
資産除去債務履行差額		0		-	
事務所移転費用		54		-	
特別損失計			1,158		69
税引前当期純利益			35,549		35,374
法人税、住民税及び事業税			10,474		8,890
法人税等調整額			171		419
当期純利益			24,904		26,064

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								株主 資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金		利益 剰余金 合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計		その他利益剰余金			
						別途 積立金	繰越 利益 剰余金		
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	31,395	56,686	87,596

当期変動額									
剰余金の配当							26,268	26,268	26,268
当期純利益							24,904	24,904	24,904
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	1,364	1,364	1,364
当期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	30,030	55,322	86,232

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	57	57	87,654
当期変動額			
剰余金の配当			26,268
当期純利益			24,904
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	116	116	116
当期変動額合計	116	116	1,247
当期末残高	174	174	86,407

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	30,030	55,322	86,232
当期変動額									
剰余金の配当							24,877	24,877	24,877
当期純利益							26,064	26,064	26,064
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	1,186	1,186	1,186
当期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	31,217	56,509	87,419

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	174	174	86,407
当期変動額			
剰余金の配当			24,877
当期純利益			26,064
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	54	54	54
当期変動額合計	54	54	1,240
当期末残高	229	229	87,648

[重要な会計方針]

1．有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 ... 移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 市場価格のない ... 時価法 株式等以外のもの (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定) 市場価格のない ... 移動平均法による原価法 株式等</p>
2．金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法
3．デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	時価法
4．外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
5．固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)、並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。 主な耐用年数は以下の通りであります。 建物 6年 附属設備 6～15年 器具備品 4～15年</p> <p>(2) 無形固定資産及び投資その他の資産 定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p>
6．引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 賞与引当金 賞与の支払いに備えるため、支払見込額を計上しております。</p>

<p>7. 収益及び費用の計上基準</p>	<p>(3) 退職給付引当金 従業員からの退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企業年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。 退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法 確定給付型企業年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。 退職一時金及び確定給付型企業年金に係る過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p> <p>当社は、資産運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。</p> <p>委託者報酬 委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>運用受託報酬 運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき契約期間の純資産総額等に対する一定割合として認識され、確定した報酬を顧問口座によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>成功報酬 成功報酬は、対象となる投資信託または顧問口座の特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬は成功報酬を受領する権利が確定した時点で収益として認識しております。</p>
-----------------------	--

[会計上の見積りに関する注記]

該当事項はありません。

[会計方針の変更]

（時価の算定に関する会計基準の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27 - 2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

これにより、「金融商品関係」注記において、金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項等の注記を行うこととしました。

なお、「金融商品関係」注記の金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項における投資信託に関する注記事項においては、時価算定会計基準適用指針第27 - 3項に従って、前事業年度に係るものについては記載していません。

[未適用の会計基準等]

該当事項はありません。

[注記事項]

貸借対照表関係

前事業年度末 (2022年3月31日)	当事業年度末 (2023年3月31日)
1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。	1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。
未払費用 1,223百万円	未払費用 1,350百万円
2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額	2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額
建物 589百万円	建物 901百万円
器具備品 618	器具備品 657
合計 1,207	合計 1,559

損益計算書関係

前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。	1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。
受取配当金 3,525百万円	受取配当金 7,634百万円
2. 固定資産除却損	2. 固定資産除却損
建物 346百万円	建物 0百万円
器具備品 28	器具備品 0
ソフトウェア -	ソフトウェア 52
合計 374	合計 52

株主資本等変動計算書関係

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当財産が金銭である場合における当該金銭の総額

2021年5月14日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	26,268百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	5,100円
基準日	2021年3月31日
効力発生日	2021年6月30日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2022年5月18日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	24,877百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,830円
基準日	2022年3月31日
効力発生日	2022年6月30日

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当財産が金銭である場合における当該金銭の総額

2022年5月18日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	24,877百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,830円
基準日	2022年3月31日
効力発生日	2022年6月30日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2023年5月23日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	55,782百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	10,830円
基準日	2023年3月31日

効力発生日

2023年6月30日

金融商品関係

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

（2）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。同じく営業債権である未収運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき、運用受託者に対して支払われる報酬の未払金額であります。この未収運用受託報酬は、信託財産から運用受託者に対して支払われる場合は、信託財産が信託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しており、顧客から直接運用受託者に対して支払われる場合は、当該顧客の信用リスクにさらされておりますが、顧客ごとに決済期日および残高を管理することにより、回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2022年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1)金銭の信託	35,894	35,894	-
資産計	35,894	35,894	-
(2)その他（デリバティブ取引）	121	121	-
負債計	121	121	-

（注1） 現金・預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、有価証券、短期貸付金、未払金、未払費用、未払法人税等は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

（注2） 投資有価証券及び関係会社株式は、市場価格のない株式等及び組合出資金等であることから、上表には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

	前事業年度（百万円）
市場価格のない株式等（ ）1.2	9,529
組合出資金等	1,886
合計	11,415

（ ）1 市場価格のない株式等には非上場株式等が含まれております。

2 非上場株式等について、前事業年度において727百万円減損処理を行っております。

（注3） 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：百万円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	2,006	-	-	-
金銭の信託	35,894	-	-	-
未収委託者報酬	27,176	-	-	-
未収運用受託報酬	4,002	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券	29,300	-	-	-
短期貸付金	1,835			
合計	100,215	-	-	-

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

区分	貸借対照表計上額（単位：百万円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託（運用目的・その他） （ ）	-	1,736	-	1,736
資産計	-	1,736	-	1,736
デリバティブ取引（通貨関連）	-	121	-	121
負債計	-	121	-	121

（ ）時価算定適用指針第26項に従い経過措置を適用し、投資信託を主要な構成物とする金銭の信託34,157百万円は表中に含まれておりません。

（注）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されています。

信託財産を構成する金融商品の時価について、投資信託は基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

デリバティブ取引

時価の算定方法は、取引先金融機関から提示された価格等に基づき算出しており、レベル2の時価に分類しております。

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自らが運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

（2）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。同じく営業債権である未収運用受託報酬は、投資顧問契約

に基づき、運用受託者に対して支払われる報酬の未払金額であります。この未収運用受託報酬は、信託財産から運用受託者に対して支払われる場合は、信託財産が信託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しており、顧客から直接運用受託者に対して支払われる場合は、当該顧客の信用リスクにさらされておりますが、顧客ごとに決済期日および残高を管理することにより、回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2023年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。

(単位：百万円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 金銭の信託	42,108	42,108	-
資産計	42,108	42,108	-
(2) その他（デリバティブ取引）	46	46	-
負債計	46	46	-

(注1) 現金・預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、有価証券、短期貸付金、未払金、未払費用、未払法人税等は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2) 投資有価証券及び関係会社株式は、市場価格のない株式等及び組合出資金等であることから、上表には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

	当事業年度（百万円）
市場価格のない株式等（ ）	10,261
組合出資金等	1,557
合計	11,819

() 市場価格のない株式等には非上場株式等が含まれております。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	1,865	-	-	-
金銭の信託	42,108	-	-	-
未収委託者報酬	26,116	-	-	-
未収運用受託報酬	3,780	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券	21,900	-	-	-
短期貸付金	1,001			
合計	96,772	-	-	-

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

区分	貸借対照表計上額（単位：百万円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託（運用目的・その他）	-	42,108	-	42,108
資産計	-	42,108	-	42,108
デリバティブ取引（通貨関連）	-	46	-	46
負債計	-	46	-	46

（注）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。

信託財産を構成する金融商品の時価について、投資信託は基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。構成物のレベルに基づき、レベル2の時価に分類しております。

デリバティブ取引

時価の算定方法は、取引先金融機関から提示された価格等に基づき算出しており、レベル2の時価に分類しております。

有価証券関係

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1．売買目的有価証券(2022年3月31日)

該当事項はありません。

2．満期保有目的の債券(2022年3月31日)

該当事項はありません。

3．子会社株式及び関連会社株式(2022年3月31日)

市場価格のない株式等の貸借対照表計上額

区分	前事業年度 (百万円)
子会社株式	9,107
関連会社株式	106

4．その他有価証券(2022年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)

貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
小計	-	-	-
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
譲渡性預金	29,300	29,300	-
小計	29,300	29,300	-
合計	29,300	29,300	-

市場価格のない株式等（貸借対照表計上額315百万円）及び組合出資金等（貸借対照表計上額1,886百万円）は、記載しておりません。

5．事業年度中に売却したその他有価証券（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1．売買目的有価証券(2023年3月31日)

該当事項はありません。

2．満期保有目的の債券(2023年3月31日)

該当事項はありません。

3．子会社株式及び関連会社株式(2023年3月31日)

市場価格のない株式等の貸借対照表計上額

区分	当事業年度 (百万円)
子会社株式	9,919
関連会社株式	106

4．その他有価証券(2023年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
小計	-	-	-
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
譲渡性預金	21,900	21,900	-
小計	21,900	21,900	-
合計	21,900	21,900	-

市場価格のない株式等（貸借対照表計上額235百万円）及び組合出資金等（貸借対照表計上額1,557百

万円)は、記載しておりません。

5. 事業年度中に売却したその他有価証券（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

区分	売却額(百万円)	売却益の合計額(百万円)	売却損の合計額(百万円)
株式	66	-	16
合計	66	-	16

デリバティブ取引関係

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(1) 通貨関連

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

区分	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等の うち一年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	1,714	-	121	121

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

区分	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等の うち一年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	952	-	46	46

退職給付関係

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
1. 採用している退職給付制度の概要 当社は、確定給付型の制度として確定給付型企业年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。	
2. 確定給付制度	
(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表	
退職給付債務の期首残高	23,270 百万円
勤務費用	961
利息費用	176
数理計算上の差異の発生額	1,521
退職給付の支払額	904
その他	14
退職給付債務の期末残高	21,967

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

年金資産の期首残高	19,349 百万円
期待運用収益	454
数理計算上の差異の発生額	258
事業主からの拠出額	814
退職給付の支払額	672
年金資産の期末残高	19,687

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	18,807 百万円
年金資産	19,687
	879
非積立型制度の退職給付債務	3,159
未積立退職給付債務	2,279
未認識数理計算上の差異	489
未認識過去勤務費用	106
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,896
退職給付引当金	3,194
前払年金費用	1,297
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,896

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	961 百万円
利息費用	176
期待運用収益	454
数理計算上の差異の費用処理額	322
過去勤務費用の費用処理額	45
確定給付制度に係る退職給付費用	959

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内容

年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。

債券	51%
株式	32%
生保一般勘定	10%
生保特別勘定	6%
その他	1%
合計	100%

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

確定給付型企业年金制度の割引率	0.9%
退職一時金制度の割引率	0.6%
長期期待運用収益率	2.35%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、197百万円でした。

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付型企业年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	21,967 百万円
勤務費用	853
利息費用	188
数理計算上の差異の発生額	1,476
退職給付の支払額	1,133
その他	83
退職給付債務の期末残高	20,314

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

年金資産の期首残高	19,687 百万円
期待運用収益	462
数理計算上の差異の発生額	716
事業主からの拠出額	819
退職給付の支払額	874
年金資産の期末残高	19,378

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	17,386 百万円
年金資産	19,378
	1,991
非積立型制度の退職給付債務	2,927
未積立退職給付債務	935
未認識数理計算上の差異	398
未認識過去勤務費用	53
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,387
退職給付引当金	2,940
前払年金費用	1,553
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,387

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	853 百万円
利息費用	188
期待運用収益	462
数理計算上の差異の費用処理額	127
過去勤務費用の費用処理額	52
確定給付制度に係る退職給付費用	653

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内容

年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。

債券	34%
株式	27%
生保一般勘定	11%
生保特別勘定	7%
その他	21%
合計	100%

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項	
当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎	
確定給付型企業年金制度の割引率	1.4%
退職一時金制度の割引率	1.1%
長期期待運用収益率	2.35%
3. 確定拠出制度	
当社の確定拠出制度への要拠出額は、202百万円でした。	

税効果会計関係

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

前事業年度末 (2022年3月31日)		当事業年度末 (2023年3月31日)	
1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳		1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳	
繰延税金資産	百万円	繰延税金資産	百万円
賞与引当金	1,381	賞与引当金	1,138
退職給付引当金	990	退職給付引当金	911
関係会社株式評価減	1,010	関係会社株式評価減	1,010
未払事業税	285	未払事業税	227
投資有価証券評価減	110	投資有価証券評価減	11
減価償却超過額	272	減価償却超過額	331
時効後支払損引当金	182	時効後支払損引当金	184
関係会社株式売却損	505	関係会社株式売却損	505
ゴルフ会員権評価減	92	ゴルフ会員権評価減	78
資産除去債務	348	資産除去債務	348
未払社会保険料	114	未払社会保険料	85
その他	84	その他	44
繰延税金資産小計	5,376	繰延税金資産小計	4,878
評価性引当額	1,795	評価性引当額	1,696
繰延税金資産合計	3,581	繰延税金資産合計	3,181
繰延税金負債		繰延税金負債	
資産除去債務に対応する除去費用	233	資産除去債務に対応する除去費用	171
関係会社株式評価益	81	関係会社株式評価益	84
その他有価証券評価差額金	78	その他有価証券評価差額金	102
前払年金費用	402	前払年金費用	481
繰延税金負債合計	796	繰延税金負債合計	840
繰延税金資産の純額	2,784	繰延税金資産の純額	2,340
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳		2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳	
法定実効税率	31.0%	法定実効税率	31.0%
(調整)		(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.0%	交際費等永久に損金に算入されない項目	0.3%
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	2.9%	受取配当金等永久に益金に算入されない項目	6.4%
タックスヘイブン税制	1.8%	タックスヘイブン税制	2.1%
外国税額控除	0.5%	外国税額控除	0.6%
外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	0.4%	外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	0.7%
その他	0.1%	その他	0.8%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	29.9%	税効果会計適用後の法人税等の負担率	26.3%

2. 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、当事業年度から、グループ通算制度を適用しております。また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

資産除去債務関係

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

本社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を当該不動産賃貸借契約期間とし、割引率は0.0%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

3. 当該資産除去債務の総額の増減

（単位：百万円）

	前事業年度		当事業年度	
	自 2021年4月 1日	至 2022年3月31日	自 2022年4月 1日	至 2023年3月31日
期首残高		1,371		1,123
有形固定資産の取得に伴う増加		48	-	
資産除去債務の履行による減少		296		-
期末残高		1,123		1,123

収益認識に関する注記

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前事業年度（自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日）

区分	前事業年度 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日)
委託者報酬	115,670百万円
運用受託報酬	16,675百万円
成功報酬（注）	1,058百万円
その他営業収益	530百万円
合計	133,935百万円

（注）成功報酬は、損益計算書において委託者報酬または運用受託報酬に含めて表示しております。

当事業年度（自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日）

区分	当事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)
委託者報酬	113,491百万円
運用受託報酬	17,245百万円
成功報酬（注）	952百万円
その他営業収益	331百万円
合計	132,021百万円

（注）成功報酬は、損益計算書において委託者報酬または運用受託報酬に含めて表示しております。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

[重要な会計方針] 7. 収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

セグメント情報等

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域

ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

（３）主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

関連当事者情報

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 関連当事者との取引

（ア）親会社及び法人主要株主等

該当はありません。

（イ）子会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引 金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
子会社	ノムラ・エー ム・ファイ ナンス・イン ク	ケイマン	2,500 (米ドル)	資金管理	直接100%	資産の賃貸借	資金の貸付	3,427	短期貸付 金	1,835
							資金の返済	1,709		
							貸付金利息	9	未収利息	4

（ウ）兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引 金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
親会社の 子会社	野村証券株式 会社	東京都 中央区	10,000 (百万円)	証券業	-	当社投資信託 の募集の取扱 及び売上の取 扱ならびに投 資信託に係る 事務代行の委 託等 役員の兼任	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払（*1）	29,119	未払手数 料	6,013

（エ）役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

（１）親会社情報

野村ホールディングス㈱(東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、
ニューヨーク証券取引所に上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません。

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 関連当事者との取引

(ア) 親会社及び法人主要株主等

該当はありません。

(イ) 子会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引 金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
子会社	ノムラ・エー ム・ファイ ナンス・イン ク	ケイマン	2,500 (米ドル)	資金管理	直接100%	資産の賃貸借	資金の貸付	5,736	短期貸付 金	1,001
							資金の返済	6,489		
							貸付金利息	44	未収利息	11

(ウ) 兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との 関係	取引の内容	取引 金額 (百万円)	科目	期末 残高 (百万円)
親会社の 子会社	野村証券株式 会社	東京都 中央区	10,000 (百万円)	証券業	-	当社投資信託 の募集の取扱 及び売上の取 扱ならびに投 資信託に係る 事務代行の委 託等 役員の兼任	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払(*1)	27,180	未払手 数料	5,773

(エ) 役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

野村ホールディングス㈱(東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、
ニューヨーク証券取引所に上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません。

1 株当たり情報

前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
1株当たり純資産額	16,775円81銭	1株当たり純資産額	17,016円74銭
1株当たり当期純利益	4,835円10銭	1株当たり当期純利益	5,060円34銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
1株当たり当期純利益の算定上の基礎		1株当たり当期純利益の算定上の基礎	
損益計算書上の当期純利益	24,904百万円	損益計算書上の当期純利益	26,064百万円
普通株式に係る当期純利益	24,904百万円	普通株式に係る当期純利益	26,064百万円
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳		普通株主に帰属しない金額の主要な内訳	
該当事項はありません。		該当事項はありません。	
普通株式の期中平均株式数	5,150,693株	普通株式の期中平均株式数	5,150,693株

第2【その他の関係法人の概況】

1 名称、資本金の額及び事業の内容

< 更新後 >

(1) 受託者

(a) 名称	(b) 資本金の額 [*]	(c) 事業の内容
野村信託銀行株式会社	35,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

* 2023年5月末現在

(2) 販売会社

(a) 名称	(b) 資本金の額 [*]	(c) 事業の内容
野村証券株式会社	10,000百万円	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
F F G 証券株式会社	3,000百万円	

* 2023年5月末現在

2 関係業務の概要

< 更新後 >

(1) 受託者

ファンドの受託会社（受託者）として、信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の保管銀行への指図・連絡等を行いません。

(2) 販売会社

ファンドの取扱販売会社として、募集の取扱いを行ない、信託契約の一部解約に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行いません。

3 資本関係

< 訂正前 >

(持株比率5.0%以上を記載します。)

(1) 受託者

該当事項はありません。

(2) 販売会社

該当事項はありません。

< 訂正後 >

(2023年3月末現在の持株比率5.0%以上を記載します。)

(1) 受託者

該当事項はありません。

(2) 販売会社

該当事項はありません。

-

独立監査人の監査報告書

2023年7月21日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御 中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 河野明史
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型の2022年11月18日から2023年5月17日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）毎月分配型の2023年5月17日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

2023年7月21日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御 中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 河野明史
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型の2022年11月18日から2023年5月17日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村グローバル高配当株プレミアム（円コース）年2回決算型の2023年5月17日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

2023年7月21日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御 中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

河野 明 史

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型の2022年11月18日から2023年5月17日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）毎月分配型の2023年5月17日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

2023年7月21日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御 中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 河野明史
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型の2022年11月18日から2023年5月17日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村グローバル高配当株プレミアム（通貨セレクトコース）年2回決算型の2023年5月17日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

2023年6月9日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中EY新日本有限責任監査法人
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 湯原 尚
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 水 永 真太郎
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の2022年4月1日から2023年3月31日までの第64期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の2023年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示の

ない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業的前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業的前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。